

【取組1】市民の納得と共感

推進項目①	市民との情報受発信と対話の推進	・・・	1
推進項目②	行政手続きの利便性向上	・・・	24
推進項目③	市民との共働	・・・	35

取組1 市民の納得と共感

[推進項目① 市民との情報受発信と対話の促進]

取組 番号	推進 項目	局区名	取組内容	27年度の実施状況	28年度以降の取組予定（27年度末時点）		
1	①	市長室	市政だより多メディア化の検討	市政だよりについてアンケートを実施しました。 また、市政だより音声版をホームページで公開することについての検討に着手しました。	引き続き、市政だよりについてアンケートを実施します。 また、市政だより音声版のインターネット上への公開に向け、サーバー容量の拡張や再生ソフトウェア等の具体的な手法について検討します。		
			市政だよりに掲載された情報を、多様なメディアで効果的に発信する手法について、市民アンケートを行い、その結果をもとに検討を行います。				
			実施スケジュール			27年度予定	27年度実績
			アンケートの実施			実施	実施
			市政だより多メディア化の検討			実施	実施

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	27年度の実施状況	28年度以降の取組予定（27年度末時点）				
1	①	市長室	職員の広聴マインド向上	市民の声を真摯に受け止め、市民と行政が良好な関係を築いていくために、職員を対象とした「広聴マインド研修」を、平成27年12月2日に実施しました。 また、広聴課で受け付けた市民からのご意見の中から、業務に参考となるものや、局別の統計、直近の件数が多い内容などを掲載した「市民の声だより」の発行回数を、2ヵ月に1回から月1回に増やしました。さらに10月からは市民から寄せられた「お礼の声」についても、庁内LANの掲示板に掲載し、広聴マインドを醸成する職場の風土づくりに努めました。	今後も引き続き、「広聴マインド研修」の実施、「市民の声だより」の発行、「お礼の声」の掲載を積極的に行い、職員の広聴マインドの向上を図ります。また、寄せられた市民の声に対する担当課との連絡調整を、より密に行うことで、市民の声に向き合う職員の意識向上に努めます。				
			職員の広聴マインド向上のために、職員を対象とした研修を実施します。 また、市民から寄せられた声の内容や統計を「市民の声だより」として、年4回程度、庁内LAN掲示板に掲載します。						
			実施スケジュール				27年度予定	27年度実績	
			広聴マインド研修				実施	実施	
			市民の声だよりの作成				実施	実施	
			指標項目		現状値 (23nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	27年度実績値	
市民からの苦情や要望に対して、改善が続いていると思う職員の割合【職員意識調査】				35.5%	40%	45%	32%		

取組 番号	推進 項目	局区名	取組内容	27年度の実施状況		28年度以降の取組予定（27年度末時点）		
1	①	市長室	広報効果の調査・分析・活用	市政だよりとホームページを基本に、テレビ・新聞、インターネットによる動画配信やフェイスブック等の多様な広報媒体を効果的に組み合わせた広報や、報道機関への情報提供等により、市政情報や市の魅力を適宜分かりやすく発信することに努めました。 職員を対象に市の広報や報道対応の充実に向けた研修やユニバーサルデザインに配慮した広報研修を実施しました。 市民の市政に関する広報満足度調査を実施しました。		引き続き多様な広報媒体を効果的に組み合わせた広報や、報道機関への情報提供などにより、市政情報や市の魅力を、より分かりやすく発信することに努めます。 また、職員の広報力を強化する研修等に取り組み、効率的・効果的な広報を目指します。		
			広報効果の調査、分析を行うとともに、ノウハウの蓄積を図り、さらなる効率的・効果的な広報を行います。					
			実施スケジュール		27年度予定	27年度実績		
			広報効果の調査・分析		実施	実施		
			指標項目		現状値 (24nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	27年度実績値
市の情報発信に対する満足度		28.4%	40%	55%	47.6%			

取組 番号	推進 項目	局区名	取組内容	27年度の実施状況	28年度以降の取組予定（27年度末時点）		
1	①	総務企画局	オープンデータの活用推進	下記の取り組みを行いました。 ○「オープンガバメント推進協議会」において、平成26年度アプリコンテストの最優秀作品をアプリ化し、「感染症流行警告アプリ ワーニング」としてリリースしました。 ○本市のオープンデータサイトの改修を行い、他自治体との共同利用、本市Webまっぷ(地図を基盤とした地域情報システム)との機能連携を開始しました。 ○まちかど安全ガードアプリ「けいご君」のiPhone版の提供を開始しました。 ○ビッグデータ&オープンデータ研究会in九州(BODIK)でのワークショップや研究会を開催しました。	下記を実施し、広域でのオープンデータの推進、公開方法の共通ルール化等をすすめ、活用事例創出に取り組めます。 ○他自治体へのオープンデータサイトの共同利用参加への働きかけ ○ビッグデータ&オープンデータ研究会in九州(BODIK)および九州オープンデータ推進会議への参加 ○オープンデータサイトで公開するデータの拡充		
			市民生活の利便性向上や企業活動の活性化を図るため、市が保有する統計情報等を利用できるように公開する「オープンデータ」について、公開方法や個人情報保護等の課題整理を行うとともに、活用推進の方向性を検討し、活用事例の創出に取り組めます。				
			○活用アイデアのコンテスト開催 ○活用の可能性に関するシンポジウム開催				
				実施スケジュール	27年度予定	27年度実績	
				アプリコンテスト・シンポジウムの開催 オープンデータ推進に関する調査検討	-	-	
				活用事例の創出	検討・実施	検討・実施	

取組 番号	推進 項目	局区名	取組内容	27年度の実施状況	28年度以降の取組予定（27年度末時点）			
1	①	総務企画局	市政運営会議の積極的な情報提供	市政運営会議における、配付資料の公表、発言内容の公開、発言者の明記など分かりやすい情報提供を実施しました。	継続して実施します。			
			市では市政運営の基本方針及び重要施策に関する事項を審議し、方針決定を行う場として市長・副市長等をメンバーとした市政運営会議を設置しています。 この市政運営会議による議事の内容をこれまで以上に分かりやすく、市公式ホームページに公表します。					
				実施スケジュール			27年度予定	27年度実績
				ホームページへの掲載			実施	実施

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	27年度の実施状況	28年度以降の取組予定（27年度末時点）			
1	①	総務企画局	附属機関等の会議の公開	附属機関等の会議の開催日時、場所、議題等の情報について、会議開催の2週間前までに情報公開室へ連絡することとし、適時市ホームページに掲載しました。 また、会議の議事録等を市ホームページに掲載していない附属機関等所管課に対して、掲載を促しました。	引き続き、会議の議事録等を市ホームページに掲載していない附属機関等所管課に対して、掲載を促す通知文を送付するなど、啓発に努めます。			
			附属機関等の会議の開催日時、場所、議題等の情報を集約し、ホームページに掲載します。また、会議の議事録、配布資料等を市民が容易に入手できるよう、ホームページへの掲載の促進を図ります。					
			実施スケジュール				27年度予定	27年度実績
			会議開催情報のホームページへの掲載				実施	実施
			会議の議事録等のホームページへの掲載				実施	実施
			指標項目		現状値 (24nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	27年度実績値
会議の議事録等をホームページに掲載している附属機関等の割合 ※公民館運営懇話会は除く				60%	70%	80%	67%	

取組 番号	推進 項目	局区名	取組内容	27年度の実施状況	28年度以降の取組予定（27年度末時点）	
1	①	総務企画局	公文書管理制度の検証・見直し	公文書管理制度の検証・見直しを実施するため、課題を、「短期的に検討・実施すべき事項」、「中期的に検討すべき事項」に整理しており、短期的課題として平成25年度に作成した「文書事務マニュアル」の改正及び「照会・通知文書に係るガイドライン」の見直しを行い、研修等による周知を行いました。 また、「中期的に検討・実施すべき事項」については、他都市の動向調査や関係部署と協議を行い、課題解決に努めています。	引き続き、文書事務研修を継続し、文書事務の適正化を図るとともに、公文書管理制度の検証・見直しを行うため、「中期的に検討すべき事項」について、公文書管理法の改正等、国の動向も踏まえながら課題解決に向けた取組を実施します。	
			文書事務のあり方については、公文書の適正な作成・保存・利用を確保しつつ、事務の簡素化及び文書管理システムの活用を進め、効率化を図るとともに、公文書管理法の趣旨を踏まえ、公文書管理制度の検証・見直しを行います。			
				実施スケジュール	27年度予定	27年度実績
			公文書管理制度の検証・見直し		実施	実施

取組 番号	推進 項目	局区名	取組内容	27年度の実施状況		28年度以降の取組予定（27年度末時点）		
1	①	財政局	市民目線の情報発信の推進	・市の財政状況に関する内容をホームページ上で随時公開するとともに、「ふくおかの家計簿」や「財政のあらまし」、行財政改革プランの概要説明のマンガなど、予算や決算の概要などを分かりやすく説明する冊子を作成し、区役所などで配布しました。 ・「ふくおか応援寄付」について、市民に分かりやすいように、リーフレットやホームページ、事業実績報告書の内容を充実させるとともに、デザインや色使いなどにも工夫を行いました。 ・財政局内に職員で構成する委員会を設置し、税情報に関するホームページが分かりやすいものとなるよう、情報の整理や掲載方法・表現方法の工夫などのページの改善を行いました。		・引き続き、様々な情報媒体を通じた情報発信を行うとともに、より分かりやすいものになるよう、市民目線での内容の再構築や、表現方法の工夫に努めます。 ・「ふくおか応援寄付」のリーフレットやホームページの作成・更新にあたっては、内容や見せ方だけでなく寄付手続きの改善を図り、利用者にとってさらに分かりやすく使いやすいものとしていきます。 ・市ホームページのリニューアルに合わせて、引き続き税情報に関するホームページの見直しを進めます。また、税制改正など新規広報が必要となる事項が随時発生するため、課題の検討や関係課との連携等を実施します。		
			現在、財政局においては、福岡市ホームページ、市政だより、パンフレットなど様々な情報媒体を活用して情報発信していますが、受信者にとって、より使いやすく役に立つものとするため、次の取組を行います。 ・財政局内に職員で構成する委員会を設置し、福岡市ホームページなどに掲載している財政局の情報をより分かりやすくして、市民目線の情報発信を行います。 ・市民、事業者などのニーズにあった情報を発信するために、今までの広報媒体に加え、SNS（ソーシャルネットワークサービス）等の活用を検討します。					
			・財政局から発信している情報についての利用者満足度（使いやすさ）の評価方法については、使いやすさ（見つけやすさ）を反映するとともに客観的な目安で把握もしやすいことからホームページのアクセス数を評価方法として用いることとしました。	実施スケジュール		27年度予定	27年度実績	
				局内委員会の設置		設置・運営	設置・運営	
				評価方法の構築		構築・実施	実施	
				より分かりやすい情報の発信		検討・実施	検討・実施	
				指標項目	現状値 (24nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	27年度実績値
				財政局ホームページ利用アクセス件数	-	1,700,000件	1,780,000件	約1,910,000件

取組 番号	推進 項目	局区名	取組内容	27年度の実施状況		28年度以降の取組予定（27年度末時点）		
1	①	市民局	市民局業務改善プロジェクトチームの設置	各部より3名ずつを応募し、プロジェクトチームを設置しました。部会ごとに取組項目を検討し取り組みました。 来庁者案内の充実と職員間の情報共有を目的として「市民局リレーメール」を実施し、職員単位で業務内容の共有を図りました。 また、広告代理店から講師を招いて、効果的広報に関する講習会を開催し、情報発信スキルの向上を図りました。		引き続き、来庁者案内の充実と職員間の情報共有を徹底するため、局独自の研修会を実施し、職員の意識やスキルの向上を図ります。		
			「必要な情報」を「タイムリー」に「分かりやすく」伝えることを目指し、局のホームページや市政だより等を活用した情報発信の充実に取り組みます。					
			また、来庁される市民の方をスムーズに担当部署へ案内できるように、局内職員間の情報共有の徹底や、案内表示の工夫などを行います。					
			これらの実現に向け、局内で業務改善プロジェクトチームを設置し、情報発信や事務手続きの改善等について協議・検討を行うとともに、局独自の研修会等を通じて、職員全体の意識の共有やスキルの向上を図ります。					
				実施スケジュール		27年度予定	27年度実績	
				プロジェクトチームによる検討と取組の推進		検討・実施	実施	
				情報発信の充実		検討・実施	実施	
				来庁者案内の充実		検討・実施	実施	
				指標項目	現状値 (24nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	27年度実績値
				業務改善に向けた取組の累積件数	-	5件以上	10件以上	10件

取組 番号	推進 項目	局区名	取組内容	27年度の実施状況		28年度以降の取組予定（27年度末時点）		
1	①	こども未来 局	子育て情報の受発信と共有	各課の広報担当者が集まり、市ホームページとの重複等を解消するため、「ふくおか子ども情報」ホームページへの一元化を図るなど情報発信の改善に取り組みました。また、フェイスブックの積極的な活用についても、局内の意識統一を図りました。 子育て支援に関するスマートフォンアプリの活用に向け、子育て中の職員へのヒアリングを実施しました。		より分かりやすく、より効率的な情報発信を行うため、役割分担や運用方針の再確認を行うとともに、スマートフォンや多言語への対応について検討し、子どもに関する情報発信体制の充実・強化を進めます。		
			情報の受信・発信については、ツールの整理を行った上で、アクションプランを策定し、運用方法の改善を行います。 また、情報共有については、区役所も含めた情報共有手段の検討をした上で共有ツールの構築を行います。					
			※指標に用いる数値についてはHPへのアクセス数としています。	実施スケジュール			27年度予定	27年度実績
				情報発信			実施及び検証	一部実施
				情報受信（ニーズの把握）			試験運用と検証	一部実施
				情報共有			試験運用と検証	一部構築
				指標項目	現状値 (24nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	27年度実績値
				情報ツールの反応指数（フェイスブック、ホームページなどの反応数）	77,306	81,000	85,000	57,343

取組 番号	推進 項目	局区名	取組内容	27年度の実施状況		28年度以降の取組予定（27年度末時点）		
1	①	保健福祉局	保健福祉施策情報受発信機能の強化	保健福祉局だよりについてはH26年度に発刊しましたが、財政的な点から既存誌を有効活用した方がよいため、27年度は各所属から市政だよりに保健福祉に関する情報を掲載するなど情報発信に努めました。また、市民との対話重視については、来庁者の多い業務を所管する部署がすぐわかるよう局のフロアマップを組織変更に合わせて変更しました。		今後も引き続き保健福祉に関する情報の発信を適宜行うとともに、市民の方がわかりやすく利用しやすい庁舎となるよう利用環境の改善に努めていきます。		
			超高齢社会を迎えるにあたり、保健・医療・福祉などの各種制度がますます複雑化・多様化しています。このため、市民が自らよりよい各種サービスを選択できるように、一元的に相談窓口が分かる広報物を発刊するなど必要な情報を必要なときに分かりやすく得られる仕組みを充実させる必要があります。また、市民の話を聴く姿勢を持つことの重要性を再認識し市民との対話重視の精神を徹底するため、市民対応のマニュアルを作成します。					
			※指標については、数値の表し方に関する考え方を変更したため、現状値及び目標値を再設定しています。	実施スケジュール			27年度予定	27年度実績
				保健福祉局だよりの発刊（広報物の統一等）			実施	実施
				市民との対話重視（市民対応の局マニュアルの作成）			実施	実施
				指標項目	現状値 (24nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	27年度実績値
				市民が保健・福祉・医療に関する情報提供や案内に満足している割合	25.1%	35.0%	40.0%	55.1%

取組 番号	推進 項目	局区名	取組内容	27年度の実施状況	28年度以降の取組予定（27年度末時点）			
1	①	環境局	市民への効果的な情報発信や市民ニーズの共有等に関する取組 広報PRに関する局内の横断的な情報交換の場（広報関係連絡会議）を活用し、市民への効果的な情報発信や市民ニーズの把握などについて、情報共有・意見交換を行います。 ＜内容＞ ・局内の広報関係のスケジュールを共有し、連携可能な広報PRの調整や、広報先・ツールのより効果的な活用について意見交換を行います。 ・各施策について市民アンケート等の市民ニーズを確認できる取組みを実施した際には、当該結果を共有し、意見交換を行います。 ・出前講座や各種プレゼン資料を共有し、統一感をもったわかりやすい資料作成のための意見交換や研修を行います。 ・広報PRのスキルアップのための研修会を年2回程度実施します。	○広報に関する情報共有と効果的な情報発信 広報に関する情報交換の場として、「広報関係連絡会議」を月1回開催し、スケジュール確認や意見交換などを行いました（各部から2名程度参加）。内容については、参加者が各所属内で周知を図りました。 ○市民ニーズの共有 広報関係連絡会議を活用し、市民向けに実施したアンケート結果を共有し、意見交換を行いました。 ○広報PRスキルアップのための研修 （H27.7.30、23名参加/H28.1.21、22名参加）	引き続き、「広報関係連絡会議」を定期的に開催し、市民への効果的な情報発信や市民ニーズの把握などについて、情報共有・意見交換を行うとともに、局全体での情報共有の徹底を図っていきます。 また、研修などを通じて広報PRのスキルアップを図り、市民にわかりやすく効果的な情報発信を行います。			
				実施スケジュール			27年度予定	27年度実績
				スケジュールの共有と効果的な広報PRについての意見交換			実施	実施
				市民ニーズの把握に関する情報共有と意見交換			実施	実施
				広報PRのスキルアップのための研修会			実施	実施
				指標項目	現状値 (24nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	27年度実績値
				広報PRスキルアップ研修の実施（回／年）	—	2	3	2

取組 番号	推進 項目	局区名	取組内容	27年度の実施状況	28年度以降の取組予定（27年度末時点）			
1	①	経済観光文化局	情報発信の充実	経済観光文化局所管のホームページで最新情報を発信したほか、市のホームページやSNSを活用し、積極的に福岡市の魅力を発信しました。	市民生活の利便性や福岡市の魅力向上を図るため、経済観光文化局所管のホームページ、SNSなど多様な媒体を通して福岡市の情報を発信していきます。			
			経済観光文化局所管のホームページに、産業、観光、文化、文化財情報などの最新情報をアップし、市民や福岡市への来訪者等へ積極的に情報提供していく。	※主なホームページの改善等 ○空き店舗物件情報・商店街情報特設サイト「あ・きてん福岡」にマーケティングデータ掲載 ○福岡フィルムコミッションのホームページをリニューアル ○観光情報サイト「よかなび」のリニューアル				
				実施スケジュール			27年度予定	27年度実績
				ホームページによる情報発信			実施	実施
				指標項目	現状値 (24nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	27年度実績値
				経済観光文化局所管のホームページへのアクセス件数(回)	310,000	319,000	328,000	370,228

取組 番号	推進 項目	局区名	取組内容	27年度の実施状況	28年度以降の取組予定（27年度末時点）			
1	①	経済観光文化局	マーケティング調査等の実施と調査に基づく事業の実施	平成27年7月と平成28年1月に、福岡市内約30の企業、団体を訪問し、聞き取り調査を実施しました。また、調査結果をホームページ上に掲載するとともに、施策の検討における参考資料として活用しました。	各業界のニーズや課題を把握するための重要な調査であるため、今後も継続していきます。			
			地域住民や企業、関係者へ調査を実施し、ニーズや課題を把握する。 調査結果に基づき、地域住民等のニーズに応じたサービスの提供や支援を行う。					
				実施スケジュール			27年度予定	27年度実績
				景気動向ヒアリング調査の実施			実施	実施
				指標項目	現状値 (24nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	27年度実績値
				景気動向ヒアリング調査回数(回)	2	2	2	2

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	27年度の実施状況		28年度以降の取組予定（27年度末時点）					
1	①	農林水産局	市民への情報発信	・平成27年度中に、局ホームページのコンテンツの整理と、ホームページデザインのリニューアルを行いました。現在、中間目標値(26nd)である327,000件を超えるアクセス件数にて推移しています。 ・長浜鮮魚市場ホームページについては、平成26年度 53,683件から平成27年度115,862件となり、前年度を大幅に上回りました。 ・「ふくおかさん家のうまかもん(福岡市内産の農林水産物及びその加工食品)」や、それを提供・販売する「優先利用事業者」を紹介する専用ホームページを新たに開設しました。 ・イベントは、農林水産まつりを平成27年11月14日に、鮮魚市場市民感謝デーを毎月第2土曜日に開催しました。どちらのイベントも来場者数が多く、大いに盛り上がりました。		・本市の農林水産業や農林水産局の取組みをPRするため、局ホームページの充実を図るとともに、各種イベント等の発信など積極的に活用します。 ・長浜鮮魚市場のPRや魚食普及推進のため、長浜鮮魚市場ホームページやフェイスブックを情報受発信ツールとして活用します。 ・専用ホームページを活用し、「ふくおかさん家のうまかもん」及び「優先利用事業者」を積極的に紹介していきます。 ・農林水産まつり、鮮魚市場市民感謝デーなど市民が参加できるイベントについても、引き続き実施してまいります。					
			本市の農林水産業や農林水産局の取組みをPRするため、局ホームページの充実を図るとともに、各種イベント等の発信など積極的に活用します。また、長浜鮮魚市場のPRや魚食普及推進のため、長浜鮮魚市場ホームページやフェイスブックを情報受発信ツールとして活用します。								
			また、農林水産まつり、鮮魚市場市民感謝デーなど市民が参加できるイベントについても、引き続き実施してまいります。								
			実施スケジュール						27年度予定	27年度実績	
			局ホームページによる情報発信						実施	実施	
			長浜鮮魚市場ホームページによる情報発信	実施	実施						
			農林水産まつり等のイベントの実施	実施	実施						
			指標項目	現状値 (24nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	27年度実績値				
局ホームページへのアクセス数(件)	312,000	327,000	343,000	339,436							
長浜鮮魚市場ホームページへのアクセス数(件)	60,000 (年度換算値)	63,000	66,000	115,862							

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	27年度の実施状況	28年度以降の取組予定（27年度末時点）				
1	①	住宅都市局	広聴と対話の促進（まちなみのルールづくり制度についての出前講座の実施）	特に中高層のマンション建設に伴う紛争が予想される地域及び紛争が起こった地区に対し、まちなみのルールづくりを働きかけています。 出前講座は、27年度は13回実施(12地区)。 建築協定締結地区は、27年度は10地区(うち更新は3地区)となっており、現在、福岡市内の協定地区は86地区となっています。	区役所や自治会等と連携しながら、まちなみのルールづくり制度を広報・啓発し、建築協定の周知に努めます。 協定を締結した地区についても、運営に関する出前講座を行い、より適切な運営を促していきます。				
			建築協定等のまちなみのルールづくり制度について市民への周知を図るため、出前講座「みんなでつくるまちなみのルール～良好な住環境を目指して～」について積極的に周知し、実施します。 〈取り組み内容〉 (1)ルールづくり制度及び出前講座の周知 ・建築紛争が予想される地区については、自治会・町内会等を通じて、住民への周知啓発のため、出前講座の利用を積極的に働きかけます。 (2)個別地区に対する出前講座利用の呼びかけ ①出前講座実施済み地区について ・建築協定についての関心が高かった地区については、さらに締結の進め方や手続き等についても理解を深めていただくよう、出前講座の再利用を呼びかけます。 ②建築協定締結地区について ・協定の有効期間満了が近い地区や、協定運営がほとんど行われていない地区の住民に協定の存在と重要性を認識してもらうため、出前講座の利用を呼びかけます。						
			実施スケジュール				27年度予定	27年度実績	
			講座内容の改良				実施	実施	
			地区指定				実施	実施	
			指標項目		現状値 (24nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	27年度実績値	
			出前講座実施回数(回)		18	25	25	13	
			地区数(地区)		15	18	20	12	

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	27年度の実施状況			28年度以降の取組予定（27年度末時点）		
1	①	道路下水道局	工事情報提供の見直し	国・他都市等の工事情報の開示状況を参考に、PR方法（HP掲載等）について、情報の収集及び検討を行いました。			市民へ向けたよりよい工事情報が発信できるように、HPの構築や改良等を行い、年度内の公開を目指して行きます。		
			建設部発注の工事情報を市民に幅広くPRし、工事への理解と協力を図ります。 ・工事箇所、工事の目的、工事期間、交通規制など						
				実施スケジュール			27年度予定	27年度実績	
				局ホームページでの情報提供			見直し	見直し	
				指標項目	現状値 (24nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	27年度実績値	
				道路下水道局ホームページ工事情報へのアクセス件数(件)	－	2000件	4,000	2,258	

取組 番号	推進 項目	局区名	取組内容	27年度の実施状況			28年度以降の取組予定（27年度末時点）	
1	①	港湾空港局	市民との情報受発信による、博多港の理解度UP	○博多港見学会について ・博多港をバスや船で見学し、港が果たす役割や市民生活との関わり等を分かりやすく紹介する博多港見学会を実施しました。 ・小学校の社会科見学での利用促進を目的に、小学校の教員を対象とした博多港見学会を実施しました。 ・この見学会でのアンケート結果をもとに、また、関係部署とも連携し、社会科の単元に沿ったモデルコースをつくりました。 ○博多港ホームページについて ・博多港ホームページを運営し、博多港の取り組みや船の寄港情報等についての情報を発信しました。 ・「お問い合わせ」ページを更新し、項目ごとに担当や連絡先を掲載することで、スムーズにお問い合わせいただけるようにしました。 ○広報・宣伝ワーキンググループについて ・月1回の定例会を継続して実施し、局内の各所属が行う広報活動等について、情報共有を行うとともに、より効果的な広報活動に努めました。 ○その他 ・福岡市役所15階のPRコーナーを更新しました。			○博多港見学会について ・博多港見学会を継続して実施し、港が果たす役割や市民生活との関わり等を分かりやすく紹介します。 ・小学校の社会科見学での利用促進を目的に、福岡市立小学校長会にて募集案内を行います。 ・例年、年に1回行っている市立小学校・特別支援学校への募集案内を年2回に増やします。 ・小学校の社会科見学で活用してもらいやすくなるため、募集案内の際に、昨年度つくった社会科の単元に沿ったモデルコースを紹介します。 ○博多港ホームページについて ・博多港ホームページを運営し、博多港の取り組みや船の寄港情報等についての情報を発信します。 ○広報・宣伝ワーキンググループについて ・月1回の定例会を継続して実施し、局内の各所属が行う広報活動等について、情報共有を行うとともに、より効果的な広報活動に努めます。	
				実施スケジュール			27年度予定	27年度実績
				博多港見学会・視察の実施			実施	実施
				博多港ホームページの充実			実施	実施
				指標項目	現状値 (24nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	27年度実績値
				視察参加者を対象としたアンケートで、視察内容について理解できたと答えた人の割合	-	60%	80%	84%
				指標項目	現状値 (23nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	27年度実績値
				博多港ホームページへのアクセス数(件)	80万	90万	100万	7,087,620

取組 番号	推進 項目	局区名	取組内容	27年度の実施状況		28年度以降の取組予定（27年度末時点）		
1	①	中央区	情報発信力向上委員会(区民の視点に立った情報発信の推進)	8月に中央区全職員を対象とした意識調査「ホームページ・フェイスブックに関するアンケート」を実施しました。 また、アンケート結果を踏まえ、どのようにしたら中央区の情報や魅力をわかりやすく伝えることができるかについて話し合いました。 その結果、3月に中央区職員一人一人がフェイスブックを活用しながら中央区の魅力をわかりやすく伝えるようになることを目的とした研修会を開催しました。		3月に開催した研修会の結果も踏まえながら、今後も中央区職員がフェイスブックを活用し、区の魅力・情報を分かりやすく伝えることができるようになるための企画を実施していきます。 また、区フェイスブック新規「いいね」の数や区ホームページのアクセス数について、28年度の最終目標に向け、鋭意情報発信を推進していきます。		
			区民の視点に立った情報発信の推進を図るため、「情報発信力向上委員会」を立ち上げ、SNS(ソーシャルネットワークサービス)など新たな広報媒体を活用した情報発信を強化するとともに、誰もが分かりやすく、利用しやすいホームページを構築し、区民に伝わる広報の充実を図ります。					
			実施スケジュール		27年度予定	27年度実績		
			SNSを活用した区民への情報発信の強化		実施	実施		
			区ホームページの充実		実施	実施		
			指標項目	現状値 (24nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	27年度実績値	
			区フェイスブック新規「いいね」の数(累計)(人)	829	2,000	3,500	2,588	
			指標項目	現状値 (23nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	27年度実績値	
			区ホームページのアクセス数(月平均)(件)	13,443	14,000	15,000	14,672	

取組 番号	推進 項目	局区名	取組内容	27年度の実施状況	28年度以降の取組予定（27年度末時点）			
1	①	城南区	市民意見の区政への反映 区役所や市民センターなどに設置された区政への提案箱や来所者及び事業参加者へのアンケートなどで出された市民意見を区政に反映させます。また、区長が地域に出向き、地域課題等について住民と意見交換をします。	区役所への提案件数は37件で、うち回答が必要な要件(14件)全ての案件について回答を行いました。住民と区長が地域で意見交換を行う事業「こんにちは区長です」は、26年度に5校区、27年度に6校区を対象に、2カ年で全校区において実施しました。26年度に実施した来所者アンケートの結果報告書を基に、職場での接遇研修や課内ミーティングなどでの活用依頼を行い、活用状況の調査を行いました。(来所者アンケートについては、隔年実施のため27年度は実施していません)	28年度は引き続き城南区への提案箱を設置するとともに、5校区で「こんにちは区長です」を実施します。 2年に1度実施していた来所者アンケートについては、隔年実施の見直しを行い、現在予定している区役所フロアのリニューアル完成後に実施することを検討しています。 その他の事業についても継続して取り組んでいきます。			
				実施スケジュール			27年度予定	27年度実績
				区役所への提案			実施	実施
				来所者アンケート			—	—
				「こんにちは区長です」			実施	実施
				指標項目	現状値 (24nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	27年度実績値
				市民からの提案に対する回答率（回答件数／提案件数）	100%	100%	100%	100%
				指標項目	現状値 (23・24nd)	中間目標値 (25・26nd)	最終目標値 (27・28nd)	27年度実績値
				「こんにちは区長です」の実施回数(校区)	11(全校区)	11(全校区)	11(全校区)	6校区(2年で11校区)

取組 番号	推進 項目	局区名	取組内容	27年度の実施状況	28年度以降の取組予定（27年度末時点）			
1	①	城南区	多様な広報媒体による区・地域情報の発信	フェイスブックや広報テレビ番組といったさまざまな 広報媒体を用いた区・地域情報の発信を行いました。	区・地域情報をより広く詳しく伝えていくため、継続 して事業を実施していきます。 また、27年度をもって終了した広報テレビ番組にか わる広報について検討します。			
			市政だより区版や区ホームページに加え、フェイス ブック、広報テレビ番組等、多様な広報媒体により、 区や地域の取り組みを発信します。また、年度当初 に自治協議会に対して区政の取り組み方針を説明す るとともに、市民向けリーフレットを作成・配布します。					
			実施スケジュール				27年度予定	27年度実績
			フェイスブック等での情報発信				実施	実施
			区政取組方針説明会、市民向けリーフレットの作成・配布				実施	実施
			指標項目	現状値 (24nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	27年度実績値	
市政だより区版、広報テレビ番組で紹介する延べ校区数(校区)				22 (11校区×2)	22 (11校区×2)	22 (11校区×2)	12	

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	27年度の実施状況	28年度以降の取組予定（27年度末時点）			
1	①	早良区	窓口サービス向上のための満足度調査等の実施	次のとおり満足度アンケートを実施し、その結果も踏まえ、接遇マニュアルのリニューアルを行いました。 なお、インターネット会員募集については、25年度のアンケート結果を踏まえ実施しておりません。 (満足度アンケート結果) ○実施日 平成27年9月15日(火)・28日(月) ○有効サンプル(回収)数 1,407票 ○調査結果:「満足」「どちらかというと満足」の合計 職員対応面 87.5% 施設環境面 80.2%	満足度アンケートの実施については、隔年での実施を予定しています。 これまでのアンケート結果を踏まえ、更なる市民サービスの向上を目指します。			
			区役所の窓口サービスの向上に資するため、窓口サービスに関する満足度について、アンケート調査を実施します。 ○ 来庁された方を対象に、職員のあいさつ、言葉遣い、服装、説明の分かり易さなどに関する満足度等を尋ねる紙ベースのアンケートを実施します。 (毎年1回、同じ時期、同じ質問で) ○ 来庁された方を対象に、チラシやパンフレット、庁内案内サイン等の感想を尋ねるヒヤリング形式のアンケートを実施します。(パンフレット作成時等随時) ○インターネット会員を募集し、e-メールによるアンケートを実施します。 ○ 区内関係課によるプロジェクトチームでアンケートの内容を検討するとともに、アンケートの結果を踏まえての改善策等の検討を行います。					
			実施スケジュール			27年度予定	27年度実績	
			関係課によるプロジェクトチームにより、アンケートの内容を検討			実施	実施	
			インターネット会員を募集			実施	未実施	
			アンケートの実施			実施	実施	
			指標項目			現状値 (24nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)
アンケートによる満足度			—	60%	80%	84%		

取組 番号	推進 項目	局区名	取組内容	27年度の実施状況	28年度以降の取組予定（27年度末時点）						
1	①	水道局	お客さまとの相互理解の促進 ・お客さまに水道事業に対する理解を深めてもらうため、市民を対象にした講座「水道カルチャークラブ」や水道局職員が小学校での出前講座を行う「こども水道教室（仮称）」などお客さまとの対話を通して、様々な情報を分かりやすく、きめ細やかに提供します。 一方でお客さまの水道事業に対するニーズをサービス向上や事業運営に反映するために、お客さまのご意見などを職員全体で共有するとともに、4年に1度の「水道水に関する意識調査」の実施サイクルを2年に1度とし、お客さまニーズをよりの確に把握します。 ・また、お客さまに水道事業の財政状況についても、より理解を深めてもらうように、現在公表している今後の事業計画や財政収支計画、水道事業ガイドラインに基づく業務指標等に加え、財政状況の経年比較等を公表し、水道局の方針や取組み・課題等の情報を多様な手法でわかりやすく積極的に発信します。	【お客さまとの対話を通じた情報提供】 小学校向けの出前講座「水道ボーイフクちゃんのこども水道教室」を、市内小学校30校で実施し、小学校4年生約2,372人の児童が受講しました。 なお、「水道カルチャークラブ」については、PR効果や参加者の減少などにより、平成26年より実施を中止しておりますが、得られたノウハウについて、他の事業へ活かしております。 【水道事業の財政状況についての情報発信】 誰にでも分かりやすい情報の発信を目指し、財政情報の経年比較及び他都市との財政状況の比較について、水道局ホームページにて公表しました。 【お客さまニーズの把握】 27年度は、「福岡市の水道に関するお客さまアンケート」を実施し、多様化するお客さまのニーズの把握に努めました。	【お客さまとの対話を通じた情報提供】 「こども水道教室」は、引き続き30校で実施します。また、効果的なPR方法を検討し、各種イベントにおいて、実施していくこととしています。 【水道事業の財政状況についての情報発信】 引き続き、財政情報の経年比較及び他都市との財政状況の比較を公表するにあたり、誰にでも分かりやすい情報の発信を目指し、公表内容の充実を図ります。 【お客さまニーズの把握】 27年度に実施した「福岡市の水道に関するお客さまアンケート」を、各事業のほか、現在策定中の「新福岡市水道長期ビジョン」や中期経営計画（H29～）等に反映させていきます。						
				実施スケジュール				27年度予定	27年度実績		
				水道カルチャークラブの実施				実施	未実施		
				こども水道教室の実施				実施	実施		
				財政情報の経年比較の公表				実施	実施		
				財政情報の他事業体との比較の公表				実施	実施		
				「水道水に関する意識調査」の実施				実施・分析	実施・分析		
				指標項目				現状値 (23nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	27年度実績値
				お客さま満足度				83.7%	84%	85%	86.7%

取組 番号	推進 項目	局区名	取組内容	27年度の実施状況	28年度以降の取組予定（27年度末時点）			
1	①	交通局	情報提供の強化等によるお客様満足度の向上 交通局では平成21年2月に策定した福岡市地下鉄中期経営指針において、「お客様満足度8.0以上を目指す」ことを目標の1つとして掲げています。これまでも、「お客様の声」や「地下鉄モニター制度」を活用し、頂いたご意見を施策に反映させてきたほか、ホームページの充実などお客様への積極的な情報発信に取り組み、お客様満足度の向上を図ってきました。 今後とも、安全・安心を最優先に、快適・便利な地下鉄を目指し、ホームページの改修や地下鉄駅の列車案内システムのリニューアルによるお客様への情報提供の強化に努めるほか、広聴業務の充実・強化を図るなど、お客様の立場に立った利便性向上に取り組み、お客様満足度の向上を目指します。	天神駅及び天神南駅における乗換利便性の向上を図るための時刻案内や運行情報を表示するモニターの設置、列車のリアルタイムの運行情報をより分かりやすく発信するための運輸指令員の増員などを実施し、情報提供の強化を図りました。 さらに、タブロイド紙「地下鉄だより」を7/15号の市政だよりにより折り込んで発行し、地下鉄の取組を紹介しました。 また、「お客様の声」や「地下鉄モニター制度」等の広聴事業によって頂いたご意見を「交通局局議」等で共有し、お客様のご意見を反映した施策作りに努めました。 なお、「お客様満足度調査」は2～3年おきに実施しており、27年度は実施していません。	駅案内サインの全面改修のモデル駅として赤坂駅のサイン改良を行うほか、ホーム丸柱にある路線案内サインや、ホーム、コンコースの要所にあるEV・階段位置案内サインなどについては、空港線・箱崎線の全駅において改良を行います。 また、海外を含む他都市からのお客様や、聴覚障がいをお持ちのお客様等へスピーディかつ分かりやすい旅客案内のため、天神駅、博多駅等の駅窓口にて「タブレット端末」を導入いたします。 「お客様の声」や「地下鉄モニター制度」等の広聴事業によるお客様のご意見等の反映も引き続き行います。			
				実施スケジュール			27年度予定	27年度実績
				「お客様満足度調査」の実施			-	-
				お客様満足度向上の取組の実施			実施	実施
				指標項目	現状値 (23nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	27年度実績値
				「お客様満足度調査」によるお客様満足度(ポイント ※10点満点)	7.3	8.0	8.0	-

取組 番号	推進 項目	局区名	取組内容	27年度の実施状況	28年度以降の取組予定（27年度末時点）			
1	①	教育委員会	学校と家庭・地域の連携強化	○学校公開週間の推進 全市一斉の学校公開週間(11/1～11/7)を設定し、保護者や地域住民に対して学校を公開する取り組みを実施しました。 学校公開週間における各学校・幼稚園の公開内容を一覧にまとめ、教育委員会ホームページに掲載したほか、情報プラザ等の窓口にも一覧を設置しました。 来校者に対して、多くの学校・幼稚園でアンケートを実施し、来校者からの意見などを学校運営に活用しました。 ○学校評価の推進及び公表の促進 「学校評価ガイドブック(改訂版)」に基づき、より実効性の高い学校評価を実施しました。	○学校公開週間の推進 これまで同様、全市一斉の学校公開週間(11/1～11/7)を設定します。 また、市政だよりでの広報回数を増やすなど、市民への更なる周知を図ります。 ○学校評価の推進及び公表の促進 学校評価の公表の必要性や、その方法について学校への周知を徹底し、より多くの学校で学校評価が公表されるようにします。 また、「学校評価ガイドブック(改訂版)」に基づいた、実効性の高い学校評価を継続実施します。			
			信頼される学校づくりを推進するため、学校の教育活動に関する情報を保護者や地域住民等に広く提供し、学校への理解を深めてもらい、開かれた学校づくりを積極的に進めるとともに、学校・家庭・地域で共働き、子どもを育てる「共育」の場づくりを推進します。 ※指標「学校評価(学校関係者評価)をホームページで公表している学校数(校)」については、小学校数が145→143となったため、最終目標値を233→231へ変更。					
				実施スケジュール			27年度予定	27年度実績
				学校公開週間の推進			実施	実施
				学校評価の推進及び公表の促進			実施	実施
				指標項目	現状値 (23nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	27年度実績値
				学校公開週間の来校者総数(人)	133,344	140,000	144,000	192,555
				学校評価(学校関係者評価)をホームページで公表している学校数(校)	49	141	231	206

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	27年度の実施状況	28年度以降の取組予定（27年度末時点）			
1	①	人事委員会	市職員の採用に関する情報の提供	＜IT等の活用＞ ・ホームページ情報の修正・追加等の更新を随時行い、適時、最新の情報及びわかりやすい内容の掲載に努めました。 ・ホームページQ＆Aについては、閲覧者がより詳細を求めるであろう質問を想定し、また、直接の問い合わせなど実態に合わせて内容の更新に努めました。 ・メールマガジンの配信、24時間テレホンサービス、求人サイトへの掲載等を行いました。 ＜各種案内＞ ・募集パンフレット等を各種施設（900施設以上）に配付・設置のうえ周知を図りました。 ・市政だより、公報、新聞等へ掲載を行い情報発信しました。 ＜説明会＞ ・大学、高校等での説明会等を実施しました。	引き続きホームページ、メルマガなどIT等の活用や、募集パンフレット、市政だよりなど広報媒体での情報発信、説明会の実施等を行います。			
			市ホームページの職員募集に、市職員の採用に関する情報をわかりやすく提供するとともに、学校関係者等に対して市職員の採用に関する情報をメールマガジンで配信し、受験者の確保に努めます。					
			実施スケジュール				27年度予定	27年度実績
			ホームページ閲覧者へアンケート調査				実施	実施
			わかりやすいホームページの作成				実施	実施
			メールマガジンの配信				実施	実施
			指標項目		現状値 (24nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	27年度実績値
			ホームページ閲覧者へのアンケート調査満足度		－	50%	70%	88%
			メールマガジンの配信件数(件)		－	50	100	80

取組 番号	推進 項目	局区名	取組内容	27年度の実施状況		28年度以降の取組予定（27年度末時点）		
1	①	監査事務局	ホームページの充実	ホームページを通して、監査情報を市民に分かりやすく提供するため、以下の点に取り組みました。 監査の結果、指摘等に対する是正・改善の状況、決算審査意見書などの監査情報について、新しい情報をスピーディーかつタイムリーに更新しました。		ホームページを通じて、監査情報を市民に分かりやすく提供するため、以下の点に継続して取り組みます。 監査の結果、指摘等に対する是正・改善の状況、決算審査意見書などの監査情報について、新しい情報を随時更新し、掲載内容を充実させていきます。		
			「市民の視点に立った監査」を推進するため、ホームページを通して、監査結果や指摘等に対する是正・改善の状況並びに決算審査意見書などの監査情報を市民に分かりやすく提供するとともに、掲載内容の充実に努めます。					
				実施スケジュール			27年度予定	27年度実績
				ホームページのレイアウト変更			実施	実施
				ホームページの掲載内容の充実			実施	実施
				指標項目	現状値 (24nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	27年度実績値
				ホームページのアクセス件数(件)	7,103	8,700	9,200	5,969

[推進項目② 行政手続きの利便性向上]

取組 番号	推進 項目	局区名	取組内容	27年度の実施状況		28年度以降の取組予定（27年度末時点）		
1	②	市長室	みんなが使いやすいホームページの作成 高齢者や障がいのある人も含め、誰に対しても情報がきちんと伝わったり、サービスを利用できたりするための取組み(アクセシビリティの向上に向けた取組み)を行います。	ホームページのアクセシビリティ向上に向けて、既存のページや新規公開するページの改善に取り組みました。 また、ホームページ利用者の声を反映し、平成27～28年度にかけて、ホームページの改善・充実に取り組み、平成27年度は届出や証明など生活に密着した情報の分類やトップページデザインの見直しに着手しました。 さらに、アクセシビリティ向上に向けた職員研修を実施しました。		だれもが探しやすく利用しやすいホームページに向けて、引き続きホームページの改善・充実に取り組み、平成29年1月に新しいホームページを公開する予定です。 また、引き続き、アクセシビリティ向上に向けた職員研修を実施します。		
				実施スケジュール			27年度予定	27年度実績
				福岡市ホームページ基本方針の改定			運用	運用
				アクセシビリティの向上に向けた取組み			実施	実施
				指標項目	現状値 (24nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	27年度実績値
			福岡市ホームページ基本方針の改定(25年度予定)により、設定した達成基準	-	-	AA	-	-

取組 番号	推進 項目	局区名	取組内容	27年度の実施状況	28年度以降の取組予定（27年度末時点）				
1	②	総務企画局	ICT(情報通信技術)の活用による行政サービスへのアクセス向上	市民・企業が利用できるオンライン行政サービスに、新たに2手続(犬の死亡届、犬の登録事項変更届)が追加されました。 また、オンライン手続の認知率向上のため、毎週発行の福岡市メールマガジンでの啓発活動に加え、5～6月、および10月には、市役所内および天神エリアのデジタルサイネージ(広報・宣伝用の大型ディスプレイ装置)で、電子手続のPRを行いました。	引き続き、市民サービスの向上のため、効果があると判断される手続について、積極的にオンライン化を進めていきます。				
			市民サービスの向上のため、効果があると判断される手続については、積極的にオンライン化を進めていきます。 また、オンライン手続の認知率は27.7%(平成24年度市政アンケート)となっており、今後とも周知広報に努め、総件数に占めるオンライン件数の割合を高めていきます。						
			実施スケジュール				27年度予定	27年度実績	
			「行政手続のオンライン化指針」「電子収納導入指針」の活用による、手続オンライン化の促進				実施	実施	
			オンライン手続に係る周知広報				実施	実施	
			指標項目		現状値 (23nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	27年度実績値	
総件数に占めるオンライン件数の割合				65.9%	68%	70%	62.2%		

取組 番号	推進 項目	局区名	取組内容	27年度の実施状況			28年度以降の取組予定（27年度末時点）		
1	②	財政局	証明書交付業務の改善による市民サービスの向上	行政手続における添付書類削減の取り組み状況について、総務企画局と連携し現状把握を行うとともに、各所属宛に必要性および手続きについて周知・説明を行いました。税情報の内部照会に係る新規案件の受付を引き続き実施し、実施事業の拡大に努めました。			対象事業にかかる調査内容を精査し、実施効果が高い事業を中心に積極的に働きかけを行うなど、更なる事業拡大に向けた取り組みを行います。		
			市税に関する証明等の添付が必要となる各種申請・届出等について、手続に伴う市民の負担の軽減・利便性の向上と区役所等における証明窓口の混雑解消を図る観点から、次の取組により、当該添付書類の削減を図ります。 ・所得証明の添付に替え、本人からの同意を基にした税務部門から事業所管課への課税情報の提供の実施を検討します。 ・「市税に滞納がないことの証明」の添付に替え、本人からの同意を基にした事業所管課からの税務部門への納税情報の内部照会の実施を検討します。						
			実施スケジュール				27年度予定	27年度実績	
			証明書を必要としている事業数を各局へ照会・現状把握				実施	実施	
			全事業のうち、内部照会が可能な事業を行っている部署へ内部照会等の実施を提案				提案・実施	提案・実施	
			内部照会等の新規受付開始				実施	実施	
指標項目				現状値 (23nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	27年度実績値		
内部照会方式等による照会実施事業件数(件)				75	110	135	142		

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	27年度の実施状況			28年度以降の取組予定（27年度末時点）	
1	②	市民局	区役所窓口支援システムの導入	前年度から引き続き、東区と南区、博多区の市民課及び保険年金課の2課間のシステムとして本格運用を行いました。関係各課で運用したところ、課題が多かったことから7区展開は見直しました。			窓口でお渡しする案内シートの見直しや、マイナンバー制度の導入及び本市基幹系システムの刷新を踏まえた、窓口支援システム運用及び手続き漏れの防止策について検討していきます。	
			住民異動届を市民課で受付後、関係各課に住民異動届をスキャンして送付することで、各業務の申請用紙に自動的に住所及び氏名を印字するシステムを導入します。 市民が、各種申請書に何度も、住所や名前を記載する必要をなくすことにより、手続きの簡素化と時間短縮を図ると共に、手続きもれを防ぎます。					
				実施スケジュール			27年度予定	27年度実績
				区役所窓口支援システムの導入			実施 (全区導入)	見直し
				指標項目	現状値 (24nd)	中間目標値 (25nd)	最終目標値 (26nd)	27年度実績値
			区役所導入数(区)	1	3	7	3	

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	27年度の実施状況			28年度以降の取組予定（27年度末時点）	
1	②	市民局	郵送請求事務の集約化・委託化の推進	平成26年度から民間への業務委託を開始しました。委託に際しては、事務処理の正確性や交付までの所要日数などの状況に留意し、平成26年度末時点においては、特段の不備などがない場合、おおむね2日以内での発送となっています。			引き続き、市によるチェック体制の充実など正確性を確保したうえで、おおむね即日の発送が可能となるようサービス向上を図ります。	
			現在、7区役所の市民課で行っている住民票の写し等の郵送請求及びその手続きに関する問い合わせ等に係る事務を、“郵送請求事務センター”1ヶ所に集約化し、その大部分の業務を民間委託することで、行政運営を効率化するとともに市民サービスの向上を図ります。					
				実施スケジュール			27年度予定	27年度実績
				郵送請求事務センターでの事務取り扱い開始			実施	実施
				指標項目	現状値 (24nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	27年度実績値
			請求を受けてから発送するまでの日数(日)	2	1	1	2	

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	27年度の実施状況			28年度以降の取組予定（27年度末時点）		
1	②	市民局	コンビニエンスストアでの証明書自動交付の推進	平成26年度に東区役所内にコンビニ交付と同様に住民票の写しなどの証明書を取得できるローソンのマルチコピー機を導入し、平成27年度も引き続き、来庁者にコンビニ交付をより身近に体感できるようにしました。また、報道や市政だより等を通してコンビニ交付サービスのPRに努めました。			なみきスクエア内の千早証明サービスコーナーにローソンのマルチコピー機を導入し、平成28年6月の千早証明サービスコーナーの開設と合わせ、ポスター・チラシ等を使い、コンビニ交付の効率的な広報を推進、積極的なPRに努めていきます。 また、コンビニ交付を身近に体感できるよう体験型デモ機を各区役所、出張所及び千早証明サービスコーナーに設置します。		
			区役所まで出向くことなく、より身近なコンビニエンスストアで、住民票の写し等の各種証明を自動交付するサービスを、平成24年8月より開始しました。 このサービスを推進するためにコンビニでの証明書交付手数料を窓口より恒常的に50円安く設定しており、より一層の利用者増を図るため、周知・広報を推進します。						
			実施スケジュール			27年度予定	27年度実績		
			コンビニ交付事業に関する広報の充実			実施	実施		
			指標項目	現状値 (24年8月)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	27年度実績値		
全ての有料証明発行数に占めるコンビニ交付発行証明の割合				0.5%	2.7%	6.1%	2.4%		

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	27年度の実施状況			28年度以降の取組予定（27年度末時点）		
1	②	住宅都市局	手続きのオンライン化等による利便性向上（市立霊園、市営住宅）	市営住宅の入居者募集について、電子申請による申込受付を行いました。 市立霊園については、26年度より電子申請による申込受付を開始し、住民票等の添付も不要としました。改革実行計画の指標としている「市立霊園利用者募集」ウェブサイトのアクセス件数(6月)は25年度から達成済みです。			市営住宅の入居者募集について、引き続き電子申請による申込受付を行うとともに、周知に努めます。 市立霊園の募集については、引き続き電子申請による申し込み受け付けを行います。		
			市民の利便性向上を図るため、手続きが簡略化できるものについて、オンライン化や簡素化に取り組みます。 ○申請書様式などの市ホームページ掲載を進めます。 ○市立霊園の利用者募集について、ホームページ掲載情報をより充実させるとともに、資料の配布など、ウェブ上で可能な機能を拡充します。 ○市営住宅の入居者募集について、窓口や郵送での受付に加え、電子申請への対応を進めます。	実施スケジュール			27年度予定	27年度実績	
				「市立霊園利用者募集」ウェブサイトの充実			実施	実施	
				市営住宅入居者募集時の電子申請受付			実施	実施	
				指標項目	現状値 (24nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	27年度実績値	
				「市立霊園利用者募集」ウェブサイトのアクセス件数(件)	471	700	1000	3242	

取組 番号	推進 項目	局区名	取組内容	27年度の実施状況	28年度以降の取組予定（27年度末時点）	
1	②	道路下水道 局	駐輪場におけるICカード精算の導入	新規にIC精算を導入した駐輪場	新規にIC精算を導入を予定している駐輪場	
			都心部の駐輪場を中心に、ICカードによる精算が可能な機器を順次導入することで、支払い手続きの簡素化による駐輪場の利便性の向上を図ります。	[内訳] ・金山駅駐輪場 385台 ・大橋駅高架下駐輪場 1,699台 ・井尻駅前駐輪場 1,673台 ・井尻駅東駐輪場 271台 ・高宮駅西駐輪場 530台 ・高宮駅東駐輪場 271台 ・高宮駅高架下駐輪場 120台 ・平尾駅駐輪場 335台 ・笹原駅西駐輪場 200台 ・吉塚駅東駐輪場 422台 ・薬院駅南駐輪場 246台 ・唐人町駅駐輪場 262台 ・今宿駅西駐輪場 1,352台 ・姪浜高架下西駐輪場 2,593台 ・周船寺駅前駐輪場 1,147台 ・箱崎駅高架下駐輪場 651台 ・千早駅北駐輪場 655台 ・千早駅南駐輪場 577台 合 計 13,389台	[内訳] ・福工大前駅東 111台 ・香椎駅南 740台 ・南福岡駅前 1,038台 ・福岡空港駅 500台 ・笹原駅東 537台 ・姪浜高架下東 653台 ・西新駅南 290台 ・西新駅西 200台 ・西新駅中央 1,016台 ・西新駅北 592台 ・藤崎駅第1 150台 ・藤崎駅第2 454台 ・室見駅前 719台 ・室見駅南 726台 合 計 7,726台	
				実施スケジュール	27年度予定	27年度実績
			駐輪場へのICカード精算の導入		実施	実施(13,389台)

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	27年度の実施状況		28年度以降の取組予定（27年度末時点）			
1	②	東区	窓口の待ち時間短縮に向けた取組	待ち時間の短縮と窓口サービス向上に向けて、職員のアイデアを集約し、運営体制の検討や事務改善に努めました。 繁忙期に、臨時窓口・記載台の増設等を行い、待ち時間の短縮に努めました。		引き続き、職員のアイデアを集約検討し、改善・効率化に取り組みます。 案内業務の見直しを行い、効率的なフロア運営と来庁者へのサービス向上を図ります。 平成28年6月に東区千早に開設予定の証明サービスコーナーの広報を行い周知に努め、窓口の分散化を図ります。			
			市民課においては、恒常的な窓口混雑を緩和するため、受付窓口を増設し、繁忙時の待ち時間の大幅な短縮を図ります。 また、保険年金課等においても、BPR（業務プロセス改革）推進により、待ち時間の短縮を図ります。						
			実施スケジュール				27年度予定	27年度実績	
			市民課窓口の増設（2窓口）				実施	実施	
			各窓口の待ち時間短縮				検証・改善	検証・再検討	
			指標項目		現状値 （23nd）	中間目標値 （26nd）	最終目標値 （28nd）	27年度実績値	
繁忙時における来庁者の受付待ち時間の割合		【証明】 30分以内で対応	12%	50%	50%	28%			
		【異動】 60分以内で対応	22%	80%	80%	15%			

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	27年度の実施状況			28年度以降の取組予定（27年度末時点）	
1	②	博多区	特定健診及び各種がん検診における多様な予約システムの構築	26年度から福岡市全体の各保健福祉センター（保健所）や公民館等での特定健診及び各種がん検診の予約は福岡市集団健診予約センターに統合されました。 ※指標項目の年間電話予約述べ件数（博多区）については、全市システムに統合されたため0である。				
			現在、博多保健所で実施している特定健診及び各種がん検診は、健康課への直接電話予約を原則としています。 市民の多様な生活スタイルに対応するため、直接電話以外の、時間外でも予約可能なシステムを構築し、特定健診及び各種がん検診の予約に関する利便性の向上を図ります。					
			実施スケジュール			27年度予定	27年度実績	
			電話外予約システム			実施	統合	
			指標項目			現状値 (24nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)
年間電話外予約延べ件数(件)			－	100	300	－		

取組 番号	推進 項目	局区名	取組内容	27年度の実施状況		28年度以降の取組予定（27年度末時点）		
1	②	博多区	区役所内環境の見直し ①区役所フロアのレイアウトの見直し案の策定（ローカウンター化などを含む） ②案内掲示物のデザイン統一化	①市民課、保険年金課などの窓口に鞆かけを設置しました。 ②事務室内キャビネットが地震等により転倒しないようボールで固定しました。		①検討中の区役所庁舎の耐震対策の方向性との整合性を図りながら、引き続き見直しを進めます。 ②引き続き見直しを進めます。		
				実施スケジュール			27年度予定	27年度実績
				1階フロアのレイアウトの見直し案の策定			実施	継続実施
				掲示物のデザイン統一			実施	継続実施
				指標項目	現状値 (23nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	27年度実績値
				区役所内環境に対する市民の満足度	61.8%	70%	80%	77.7%

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	27年度の実施状況	28年度以降の取組予定（27年度末時点）			
1	②	中央区	窓口サービス向上委員会(窓口サービスの利便性向上)	・各課に対して平成26年度来庁者アンケート調査(隔年実施)結果での評価の低い項目及び課題となっている事項での改善策(案)を提示し、対応状況を確認後に平成27年度から平成28年度早期に改善を行うための予算措置を行いました。 ・来庁者の窓口受付時でのプライバシー保護のため、サウンドマスキング(自然音による会話の内容を隠す)や、入部出張所における庁舎内BGMの活用状況を調査しました。 ・各課にサービス介助士1名を配置し、来庁者に対し「サービス介助士」が配置されていることを周知するために、アクリルスタンドを設置、また、サービス介助士2級資格取得者であることの名札の着用を行いました。 ・区役所職員の介助知識・技術の向上と、介助を要する来庁者の立場にたったサービスの提供を実現するために「介助講習会」を4回開催し、延べ126名が受講しました。 ※ 市民アンケートは、隔年調査のため未実施です(28年度実施予定)。	・平成28年度来庁者アンケート調査を前回同様に8月以降に実施予定です。 なお、保険年金課の待合スペース拡充後に庁舎環境改善委員会と合同にて実施を予定しています。 ・人事異動により各課に配置しているサービス介助士資格取得者が欠員となった場合に、欠員となった所属にサービス介助士資格取得者を配置するための取得講習会を実施します。 ・窓口ワンストップサービスや来庁者の窓口受付時でのプライバシー保護のため、サウンドマスキング(自然音による会話の内容を隠す)、庁内BGM等、窓口サービス向上の将来的な取組みを研究します。			
			窓口サービスの利便性向上を図るため、「窓口サービス向上委員会」を立ち上げ、繁忙期の複数課にまたがる手続きについて、来庁者にスムーズに手続きを行ってもらえるよう組織横断的な連携強化を図ります。					
			また、研修や業務パンフレットの作成等、窓口サービスの情報を職員間で共有する取組みを進めるとともに、来庁者が待ち時間を有効活用できる仕組みづくりに取り組みます。					
			実施スケジュール				27年度予定	27年度実績
繁忙期の組織横断的な連携強化				実施	実施			
窓口案内機能の強化				実施	実施			
待ち時間の有効活用の仕組みづくり				実施	実施			
指標項目				現状値 (24nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	27年度実績値	
窓口サービスに対する満足度				－	60%	80%	－	

取組 番号	推進 項目	局区名	取組内容	27年度の実施状況	28年度以降の取組予定（27年度末時点）				
1	②	中央区	庁舎環境改善委員会（区民に分かりやすい庁舎環境の整備）	①1階の保険年金課・市民課前の待合いスペースを拡げるために、北側窓口カウンターのセットバックを検討し、28年度に実施することを決定しました。また、売店跡地には市民相談室を28年度に移設することとなりました。 ②正面玄関前の空間利用について、議論しました。 ③庁舎内の掲示物を整理するために、引き続き、掲示要領の策定について議論しました。 ④庁舎内の環境に即した空調運転について議論しましたが、有効な方策は見出せませんでした。 ※ 市民アンケートは、隔年調査のため未実施です（28年度実施予定）。	①28年度中に1階北側の窓口カウンターのセットバックを実施します。 ②正面玄関前の空間利用について、中長期的な視点と、短期的な視点の双方向から議論します。 ③庁舎内の掲示要領の策定に向けて、引き続き検討を行います。 ④市民の庁舎環境に対する満足度がどれだけ向上したかを確認するため、窓口サービス向上委員会と合同で市民アンケートを実施します。				
			区民に分かりやすい庁舎環境の整備をおこなうため、「庁舎環境改善委員会」を立ち上げ、区役所入口への案内掲示板等の設置や、掲示物・誘導表示のルールづくり等、快適で分かりやすいフロア空間づくりを推進します。 また、特に区民の利用が多い1階フロアについて、利用者の立場に立ったフロア配置の最適化について検討を行います。						
			実施スケジュール					27年度予定	27年度実績
快適で分かりやすいフロア空間づくり					実施	実施			
1階フロア配置の最適化検討					実施	実施			
指標項目					現状値 (24nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	27年度実績値	
庁舎環境に対する満足度					－	60%	80%	－	

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	27年度の実施状況	28年度以降の取組予定（27年度末時点）			
1	②	交通局	地下鉄ICカード「はやかけん」等による行政手続きの利便性向上	本市施設（区役所・駐輪場・博物館・渡船場等）において、電子マネー決済による行政手続きが可能な施設は、72施設（H27.3）から110施設（H28.3）となり、お客様の利便性向上を図っています。	「はやかけん」は、約84万枚発行しており、今後も利用者の利便性向上のために、本市施設における電子マネー決済が可能な箇所を順次拡大していく予定です。 電子マネー利用件数は、平成26年度末時点ですでに最終目標値（28nd）を大きく上回る結果となっており、今後さらに、本市施設利用者の利便性向上に努めていきます。			
			地下鉄ICカード「はやかけん」については、全国の主要な交通機関において乗車券として利用することができる利便性に加え、本市施設（区役所・博物館等）における電子マネー決済など行政手続きにおける利便性を有するため、普及促進等に取り組み、お客様の利便性向上を図ります。 また、平成25年3月23日開始の全国相互利用によって、「はやかけん」を利用できる本市施設では、全国の主要なICカードの電子マネーについても利用することができるため、「はやかけん」を利用できる本市施設の拡大等に取り組み、来街者を含め、本市施設利用者の利便性向上を図ります。					
			実施スケジュール				27年度予定	27年度実績
			「はやかけん」を利用できる本市施設の拡大				実施	実施
			「はやかけん」の広報・PR等				実施	実施
			指標項目		現状値 （24nd）	中間目標値 （26nd）	最終目標値 （28nd）	27年度実績値
本市施設における電子マネー利用件数（年間）（件）				35,450	42,000	50,000	163,937	

取組 番号	推進 項目	局区名	取組内容	27年度の実施状況			28年度以降の取組予定（27年度末時点）		
1	②	人事委員会	市職員採用試験申込みの利便性向上	・電子申請システムの安定稼働に努め、エラーによる郵送申し込みへの切り替えの抑制に努めました。 ・郵送用申請書のダウンロードを提供しました。			引き続き電子申請システムの安定稼働及び郵送 用申請書のダウンロード等の提供を行い、利便性の 維持・向上を行います。		
			市職員採用試験申込みについて、インターネット （電子申請）による申込みを推奨し、郵送による申込 書をインターネットからダウンロードを可能にすること で、申込手続きの利便性を向上します。						
			実施スケジュール				27年度予定	27年度実績	
			インターネット申込みの推奨				実施	実施	
			申込書のダウンロード化				実施	実施	
			指標項目		現状値 （23nd）	中間目標値 （26nd）	最終目標値 （28nd）	27年度実績値	
			受験申込み全体に占めるインターネット（電子申請）申込みの割合		48.9%	55%	60%	71%	
			指標項目		現状値 （24nd）	中間目標値 （26nd）	最終目標値 （28nd）	27年度実績値	
郵送申込みに占めるダウンロード申込書の割合		－	20%	30%	41%				

取組 番号	推進 項目	局区名	取組内容	27年度の実施状況		28年度以降の取組予定（27年度末時点）		
1	②	農業委員会	農地法関係手続きに係る情報提供	ホームページを活用して、各種申請書の掲示や制度についての説明等掲示内容の見直しを行い、手続きの円滑化を図りました。		今後も適宜掲示内容の見直しを行うなど、手続きについての情報提供の充実を図っていきます。また、各種証明の所管区域についても一部に関しては、可能となるように引き続き処理方法等の見直しを行っていきます。		
			ホームページにて「農業委員会の概要」をはじめ、「農地の売買・貸借」「農地の転用」「各種証明」「農業者年金」等にかかる諸手続きの流れ、標準処理期間や制度の説明を行なうとともに「農地の賃借料」「農業委員会からのお知らせ」などを掲載して広く情報提供を行ない各種手続の円滑化を図ります。また、各種証明の受付について、所管区域を越え事務局、西部出張所のどちらでも受け付け出来る体制を整え申請者の負担軽減を図ります。					
				実施スケジュール			27年度予定	27年度実績
				情報の点検・更新			実施	実施
				指標項目	現状値 (24nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	27年度実績値
			情報の更新累積回数(回)		30	90	150	112

[推進項目③ 市民との共働]

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	27年度の実施状況	28年度以降の取組予定（27年度末時点）			
1	③	財政局	施設利用者の満足度向上 多くの市民が利用する施設をより良くするため、従来型の市民アンケートの手法に加え、行政のプロである多様な分野の市職員の知識・経験を活かし、施設の評価を行うことで、安全安心、福祉、子育て、集客など、様々な視点から、より満足度の高い施設整備、運営を図ります。 また、市職員が縦割りの壁を超えて同じ施設の評価を行うことで、担当業務に関わらず、市民の満足度向上が市職員の重要な使命であるという意識付けに繋がります。 ・利用開始後振り返り評価 市有施設を建設する際には、ワークショップ等により利用者からの意見の収集、反映に努めているものの、実際に利用開始した後に、建設時には気づかなかった利用者の視点からの課題が明らかとなる場合があります。 そこで、利用開始後の施設について、利用者アンケートのほか、市職員による評価を行い、その結果を事例集等としてまとめ、今後の設計の際に参考とすることで、施設設計を利用者の視点から改善していきます。 ・市役所本庁舎等の評価 市施設の中でも、財政局が所管する市役所本庁舎、北別館、西側広場等は、市民が頻繁に利用する施設であることから、特に利用者満足度の向上を図っていきべき施設であると考えられます。 そこで、これらの施設について、利用者アンケートのほか、市職員による評価を行い、その結果を踏まえ、利用者満足度の向上を図ります。	・利用開始後振り返り評価 建て替えを実施した公民館・老人いこいの家3施設について、職員による利用開始後振り返り評価を実施しました。 ・市役所本庁舎等の評価 昨年に引き続き来庁者を対象に本庁舎の案内表示、設備、駐車場などの満足度についてアンケート調査を行い、庁舎案内の表示等を改善しました。	・利用開始後振り返り評価 公民館・老人いこいの家について、引き続き、職員による利用開始後振り返り評価を実施します。 ・市役所本庁舎等の評価 引き続きアンケート調査を行い、市役所本庁舎等が来庁者にとって、より利用しやすい施設となるよう、必要に応じ改善・改修に反映していきます。			
				実施スケジュール				
				利用開始後振り返り評価	本格実施			本格実施
				市役所本庁舎等の評価	本格実施			本格実施
				指標項目	現状値 (24nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	27年度実績値
				利用者・市職員評価の実施回数(回/年)	0	6	12	9
				市役所本庁舎等の利用者満足度	—	78%	80%	83.8%

取組 番号	推進 項目	局区名	取組内容	27年度の実施状況		28年度以降の取組予定（27年度末時点）		
1	③	市民局	社会構造の変化に応じた地域コミュニティ支援	26年7月に外部委員をもって構成する「地域のまち・絆づくり検討委員会」を設置し、地域コミュニティによるまちづくりの推進と、それに向けた地域と行政の共働について検討を進め、27年10月に提言をいただき、「“ふくおか”地域の絆応援団」事業の創設や校区・地区の目標(ビジョン)づくりをモデル的に実施する等、可能な事業等については年度内に着手・実施しました。		検討委員会からの提言を踏まえ、地域活動の担い手づくりや地域の絆づくりを推進し、持続可能な地域を自治協議会と共に創るため、自治協議会に対する補助金を「自治協議会共創補助金」として拡充します。		
			地域コミュニティの基盤強化・活性化に向けた具体的方策等について、地域活動の関係者や有識者等と意見交換しながら検討し、取組を進めます。					
			実施スケジュール		27年度予定	27年度実績		
			地域コミュニティの基盤強化・活性化に向けた取組		実施	実施		
			指標項目	現状値 (22nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	27年度実績値	
地域活動に参加したことがある市民の割合		56.2%	62%	65%	53%			

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	27年度の実施状況	28年度以降の取組予定（27年度末時点）			
1	③	市民局	共働事業提案制度の推進	・NPOからの事業提案について、公開プレゼンテーションを経て採択しました。（2事業） ・26年度に終了した事業の成果等を報告する「最終報告会」や継続事業にかかる「中間報告会」を開催しました。（26年度終了事業：2事業 27年度継続事業：5事業） ・市民やNPO、企業など多様な主体との交流の場「共働カフェ」を開催しました。 ・さらなる制度の推進のため、サポート事業の充実や行政課題の掘り起こしができる仕組みづくり等制度の見直しを行いました。 ※指標項目の調査は、隔年実施のため実施していません。	・引き続き、公開プレゼンテーションや報告会等を実施します。 ・「共働カフェ」等を通して多様な主体との出会いの場、交流の場を創出します。			
			多様な市民ニーズに対応したきめ細かい市民サービスを提供するため、NPOの柔軟で斬新な事業提案を募集し、採択された事業についてNPOと市が共働で事業に取り組む「共働事業提案制度」を実施します。さらに、共働をより一層促進するための啓発事業を実施します。					
			実施スケジュール				27年度予定	27年度実績
			NPOからの提案募集・審査・実施事業評価				制度全体の振り返り	制度全体の振り返り
			共働への理解促進				実施	実施
			指標項目	現状値 (20～24nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	27年度実績値	
			共働事業提案制度による共働事業数 (新規採択数の累計件数)（件）	24	32	40	32	
			指標項目	現状値 (22nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	27年度実績値	
			担当業務においてNPOと共働したことがある市職員の割合				23.3%	36%

取組 番号	推進 項目	局区名	取組内容	27年度の実施状況		28年度以降の取組予定（27年度末時点）		
1	③	市民局	市職員の共働への理解と意識の向上及び連携強化	・地域コミュニティとの共働に向けた取り組みを全庁的に推進するため、コミュニティに関する全職員研修（新規採用職員研修・社会人採用研修含む）を実施しました。 ・NPOとの共働に関し理解を深めるため、課長研修や、一般職員・新任公民館職員を対象とした研修を実施しました。 ※指標項目の調査は、隔年実施のため実施していません。		・引き続き、新規採用職員研修や社会人採用研修において地域コミュニティに関する研修を実施します。 ・引き続き、研修等を実施し、職員の共働への理解と意識の向上を図ります。		
			地域コミュニティやNPO等との共働に関する市職員の理解を促進するため、職員研修等を強化します。					
				実施スケジュール			27年度予定	27年度実績
				新規採用職員研修			実施	実施
				地域コミュニティに関する全職員研修			実施	実施
				共働を理解する課長研修			実施	実施
				指標項目	現状値 (22nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	27年度実績値
				担当業務においてNPOと共働したことがある市職員の割合	23.3%	36%	42%	-
				指標項目	現状値 (23nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	27年度実績値
				地域コミュニティに関する全職員研修を受講した職員の数(人)	3,823	6,800	9,800	9,839

取組 番号	推進 項目	局区名	取組内容	27年度の実施状況		28年度以降の取組予定（27年度末時点）		
1	③	市民局	企業の地域活動を促進する仕組みづくり	検討委員会からの提言を踏まえ、企業やNPOの地域活動の促進や地域活動の新たな担い手として地域を応援するための「ふくおか」地域の絆応援団」事業を創設し、企業などへ応援団への登録を呼びかけ、市ホームページで活動内容の紹介を行いました。また、企業やNPOとの連携による地域課題解決への取り組みを推進するとともに、地域コミュニティの担い手と雇用の創出を目指しセミナーを開催しました。		引き続き、「ふくおか」地域の絆応援団」事業を実施し、企業や商店街、NPO、大学などの地域活動への参加を促進するとともに、校区の特性に応じたまちづくりを支援するなど、様々な主体が、地域の未来を共に創り出す「共創」の取り組みを推進します。		
			企業の地域活動の促進に向け、具体的方策を検討し、取組を進めます。					
				実施スケジュール			27年度予定	27年度実績
				企業の地域活動の促進に向けた取組			実施	実施
				指標項目	現状値 (22nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	27年度実績値
				地域活動に参加したことがある市民の割合	56.2%	62%	65%	53%

取組 番号	推進 項目	局区名	取組内容	27年度の実施状況	28年度以降の取組予定（27年度末時点）			
1	③	市民局	職員の地域活動・社会貢献活動等への参加促進 市民と直接接する実務経験を増やすことにより、市民ニーズや地方公務員としての役割などを再認識し、その経験・知識を業務に活かします。 具体的には、局職員に対して、局内各部が実施する市民を対象としたイベントや地域活動・社会貢献活動などに関する情報を収集・発信することで、局全体で参加しやすい風土を作るとともに、局内電子掲示板等で活動報告を行いながら、参加者の裾野を広げていきます。	・各課が実施する対市民業務について、前期、後期に分けてイベント一覧表を作成するとともに、地域の夏祭りイベントなどの情報提供を行いました。 ・社会貢献活動等については、局内のプロジェクトチームによる電子掲示板やフェイスブックを活用した体験記やイベント紹介などの情報発信を行いました。 ・社会貢献活動の一環として、「★市民局ぴかぴか隊★」を立ち上げ、天神地区及び所管施設周辺の清掃活動に取り組みました。また、局内の書き損じ年賀ハガキを回収し、換金した後、NPO活動支援基金に寄付を行いました。 ※指標項目の調査は、隔年実施のため実施していません。	・引き続き、局内職員に対し、地域活動や各課が実施する市民参加イベント等の情報提供を行うとともに、参加を呼びかけていきます。 ・また「★市民局ぴかぴか隊★」による一斉清掃活動にも、継続的に取り組みます。			
				実施スケジュール			27年度予定	27年度実績
				参加可能な対市民業務の情報収集・発信、職員の参加			実施	実施
				社会貢献活動等の情報収集・発信、職員の参加			実施	実施
				活動結果の評価			実施	実施
				指標項目	現状値 (24nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	27年度実績値
				他課が実施する対市民業務に参加したことがある職員の割合（過去1年間）	53.7%	65%	75%	－
				地域活動や社会貢献活動に参加したことがある職員の割合（過去1年間）	54.5%	65%	75%	－

取組 番号	推進 項目	局区名	取組内容	27年度の実施状況	28年度以降の取組予定（27年度末時点）			
1	③	こども未来局	NPO・企業等との連携・共働による市民サービス意識の向上	職員アンケートの実施に替えて、職員の意識向上を目的とした、NPOに関する職員研修を企画しました。（28年度実施）	NPOに関する職場研修を実施し、市民サービスの意識向上を図ります。 また、ボランティア活動への参加など、さらに職員の意識向上を図る手法を検討します。			
			NPO・企業等との連携により市民サービス意識の向上を図るため、各種研修及びNPOとのワークショップなどを行います。					
				実施スケジュール			27年度予定	27年度実績
			NPO・企業等との連携、共働				試行	企画
			市民サービス意識の向上				実施	企画
			職員アンケート				実施	企画
				指標項目	現状値 (24nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	27年度実績値
				子育て環境満足度	60%	62%	65%	64%
			NPO・企業等との連携の重要性に対する職員の理解度（職員アンケート）	－	80%	100%	－	

取組 番号	推進 項目	局区名	取組内容	27年度の実施状況	28年度以降の取組予定（27年度末時点）			
1	③	保健福祉局	市民同士の情報交換の場の創設	平成26年12月に運用を開始した保健福祉局フェイスブックページ「よかろーもんの部屋」にて、保健福祉局に関するあらゆる情報を、「リアルタイム」に「分かりやすく」発信するよう心掛けました。	28年度も継続して保健福祉局フェイスブックページにて、保健福祉局に関する様々な情報を発信していく予定です。また、フェイスブックページの機能を活用したページ内容の拡充について検討を行います。			
			これからの時代は、一方的に行政のみでサービスを行うのではなく、地域での支え合いなど市民同士やNPOが様々な場でサービスを行う必要があります。 現在、市民が行政から情報を受け取る手法はある一方、市民同士で情報のやりとりができるような場が十分でないことから、保健福祉施策について気軽に情報交換できる場を創設し、個人やNPO、ボランティア団体などがお互いに交流を持ち、連携が図れる体制を整えます。					
				実施スケジュール			27年度予定	27年度実績
				SNSの活用（フェイスブック等を利用した専用ページの開設）			実施	実施
				指標項目	現状値 (24nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	27年度実績値
			SNS（ソーシャルネットワークサービス）登録人数（人）	－	500	1500	625	

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	27年度の実施状況	28年度以降の取組予定（27年度末時点）					
1	③	保健福祉局	地域における福祉活動への支援	校区社会福祉協議会が行うふれあいネットワーク、ふれあいサロンに対して、市・区社会福祉協議会を通じて、活動費を助成しました。	ふれあいネットワーク・ふれあいサロンに対しての助成を継続していきます。					
			地域住民が主体的に取り組んでいる高齢者等に対する見守りなどの福祉活動（ふれあいネットワークやふれあいサロン）を支援するとともに、地域住民の地域活動による悩みや相談など下支え可能な環境を推進します。							
				実施スケジュール			27年度予定	27年度実績		
				ふれあいネットワーク			検証・拡充	検証・拡充		
				ふれあいサロン			検証・拡充	検証・拡充		
				指標項目	現状値 (23nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	27年度実績値		
				ふれあいネットワークを実施している自治会・町内会数(地区)			1,638	1,914	2,075	1,770
				ふれあいサロンの実施箇所数(力所)			292	325	336	371

取組 番号	推進 項目	局区名	取組内容	27年度の実施状況	28年度以降の取組予定（27年度末時点）				
1	③	環境局	計画等策定時における対話手法(ワールドカフェ方式など)の導入	平成27年度に策定作業を行った博多湾環境保全計画については、市民・NPO・事業者などが対話し交流する場であるトーク・カフェを活用し、この中で意見交換を行いました。(H28.3.20、23名参加)	平成28年度以降に策定作業を予定している行政計画等について、引き続き対話手法(ワールドカフェ方式など)の導入や、導入する場合の実施方法等を検討します。 ○福岡市地球温暖化対策実行計画 今後パブリックコメント実施時(H28.10月頃予定)にあわせて温暖化対策に関係のある市民、事業者に別途意見を聴取します。				
			行政計画などの策定の際に、従来の委員会形式に加え、市民との対話を重視した手法(ワールドカフェ方式など)の導入を検討します。 具体的な内容については、計画等の性格や策定期間などに応じて随時検討を行い、行政計画などの策定時における市民対話手法の活用を定着化します。 ＜環境基本計画＞ 本市総合計画の事例を参考としながら、素案作成の段階で市民対話手法の活用を検討します。 ＜野鳥公園＞ 多様な主体が集う「野鳥公園ラウンジカフェ」を開催し、気軽に意見交換できる対話手法による合意形成を図ります。 また、整備後の管理・運営についても、従来の行政主導ではなく、NPOなどの市民活動やCSRなどの民間活力を取り入れ、共働する手法など斬新な公園管理運営の導入を検討し、将来的な管理費抑制を図ります。	実施スケジュール				27年度予定	27年度実績
			計画等策定過程における市民対話手法の検討及び導入				実施	実施	
			指標項目	現状値 (24nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	27年度実績値		
行政計画などの策定時における対話手法の導入率				—	50%	100%	100%		

取組 番号	推進 項目	局区名	取組内容	27年度の実施状況	28年度以降の取組予定（27年度末時点）				
1	③	農林水産局	市民団体等との共働	・自然共生ため池整備事業は、現在6箇所が整備済みです。 ・ため池の整備後は、花壇管理や清掃を月1回以上行うこととしており、活動に対し、市から助成を行いました。 ・森と海の再生交流事業は、市、漁協、森林組合、民間企業及びボランティア団体により、平成27年11月28日に早良区大字曲淵字浦山にて植林作業を行いました。	市内6箇所に整備した「自然共生型ため池」の管理については、今後も引き続き、市民と共働して実施します。 また、漁業者、林業関係者や市民ボランティア団体などと共働して植林を行う「森と海の再生交流事業」を実施し、水域全体の環境保全に取り組めます。				
			「自然共生型ため池」の整備にあたり、市民に親しまれる憩いの場となるようワークショップにより地域住民の意見やアイデアを引き出し整備計画に反映させ、整備後の管理についても、市民と共働して実施します。 また、漁業者、林業関係者や市民ボランティア団体などと共働して植林を行う「森と海の再生交流事業」を実施し、水域全体の環境保全に取り組めます。						
			実施スケジュール				27年度予定	27年度実績	
			自然共生型ため池整備事業				実施	実施	
			森と海の再生交流事業				実施	実施	
			指標項目		現状値 (23nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	27年度実績値	
市民による自然共生型ため池の清掃活動(回)				85	100	120	133		

取組 番号	推進 項目	局区名	取組内容	27年度の実施状況		28年度以降の取組予定（27年度末時点）		
1	③	港湾空港局	市民との共働によるエコパークゾーンにおける環境の保全と創造 博多湾東部の「エコパークゾーン」における環境の保全と創造に向けて、市民団体等との定期的な意見交換や市民共働による環境保全活動を実施します。	干潟の生きもの観察会(7/26:95名参加)、バードウォッチング(12/5:36名参加)といった「自然観察会」(2回)、「アオサ回収活動」(8～10月に5回:のべ526名参加)、『アママ場づくり』(11/3、2/27:のべ80名参加)」を実施しました。		28年度以降も引き続き、博多湾東部の「エコパークゾーン」における環境の保全と創造に向けて、市民共働による環境保全活動を実施します。		
				実施スケジュール			27年度予定	27年度実績
				市民共働による環境保全活動			実施	実施
				指標項目	現状値 (23nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	27年度実績値
				市民共働による環境保全活動の累積参加者数(人)		約300	650	1,300

取組 番号	推進 項目	局区名	取組内容	27年度の実施状況	28年度以降の取組予定（27年度末時点）			
1	③	南区	「Webマップの活用」と「地域福祉ネットワークづくりモデル事業」の推進	・従来のWebまっぷを活用した地域活動支援を行ってきましたが、当該まっぷは地域では加工しづらいシステムであり、情報化担当課において27年度末に新システムが導入され、新たなマップシステムが構築されたこともあり、本格実施に至りませんでした。	・新システムを活用したマップ作りについて、モデル校区を2校区選定し、パイロット事業として導入し普及を図ります。 また、今後も災害時要援護者支援を推進し地域の避難支援体制構築の強化を目指します。			
			校区ごとに紙で作成し地域に提供している安全安心マップについて、各校区との協議や地域の理解と協力のもと、各校区でWebマップ上のデータを活用し、それぞれで必要な独自のマップを作成し校区の安全・安心に活用する方向に段階的に進め、地域福祉ネットワークづくりモデル事業をさらに拡大し、推進します。	・地域福祉ネットワークづくりモデル事業は、十分な成果を上げたことから、26年度にお・も・い・や・リネットワーク事業として継続実施するとともに、全市展開の新事業につながることが出来ました。				
			実施スケジュール				27年度予定	27年度実績
			Webマップ上の「安全安心マップ」データを地域で編集利用する				拡大	検討
			Webマップ上の地図データを利用して校区独自でマップを作成できるシステムを構築				拡大	検討
			地域において、「要援護者支援マップ」、「避難経路マップ」などを作成してコミュニティ活動に活用				拡大	検討
			指標項目	現状値 (24nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	27年度実績値	
			Webマップの活用促進（安全安心マップの応用版まで作成・活用）（校区）	0 (H25システム完成)	10	25	0	
			災害時要援護者避難支援計画策定地域の増加（自治会、町内会）	0	20 (覚書締結数)	50	21	

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	27年度の実施状況	28年度以降の取組予定（27年度末時点）				
1	③	南区	まちづくりボランティアのNPO団体などと共働した大橋エリアの活性化	・街そうじ(NPOグリーンバード主催:毎月第1、3、5水曜日・みなみまちむすびプロジェクト主催:第2、4水曜日)を実施しました。 ・大橋駅西口広場イベント楽しか大橋会場にて、キャンドルナイトを開催しました。(12月18日) ・地域の歴史や文化等を活かしたウォークラリー「みなみく・さるく」(南区企画振興課・みなみまちむすびプロジェクト共働)を、大橋駅周辺エリアで実施しました。(11月1日) *「みなみまちむすびプロジェクト」とは、NPOグリーンバード大橋チームと区役所職員有志が立ち上げた任意団体です。	定期活動である街そうじ(NPOグリーンバード、みなみまちむすびプロジェクト主催:毎週水曜日)のほか、楽しか大橋会場にてキャンドルナイトイベントを引き続き実施予定です。 また、新たに今秋から、南区役所職員を中心とした大橋駅周辺の清掃活動を実施予定で、南区大学連絡会議構成校の学生の参加も呼び掛けます。				
			市の南部広域拠点である大橋における地域・民間・行政が一体となった活性化を進めるため、大橋を中心に活動しているまちづくりボランティア団体(グリーンバード)の活動について、商店街、学生、コミュニティをはじめ、大橋に関係のある市職員(居住、乗り換え、南区役所勤務など)などにも参加を呼びかけ、地域の活性化に向けて人の輪、街づくり活動の幅の広がりを進めます。 また、この活動を通じて、職員が市民の目線でまちを見て、市民とともに考え、目標達成に向けて行動する人材(市民と共働する行政のプロフェッショナルへの成長)へと成長することにつなげていきます。						
			実施スケジュール				27年度予定	27年度実績	
			まちづくりボランティア活動への市職員としての参加（清掃・あいさつ運動）				検討・実施	検討・実施	
			大学生、商店街、コミュニティへの参加働きかけと活性化推進				検討・実施	検討・実施	
			指標項目		現状値 (24nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	27年度実績値	
			まちづくりボランティアへの市職員の年間の参加延べ人数（人）		－	480	720	112	
			同活動への参加総数		－	720	1,440	545	

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	27年度の実施状況		28年度以降の取組予定（27年度末時点）			
1	③	早良区	区民(市民)との共働による安全安心のまちづくり ○ 地域の防犯・交通安全等をテーマに、市民・行政・警察が連携し、ワークショップ形式により地域の課題を考え、まち歩き等現地で課題の解決方法を具体化し、「まちづくり基本計画」を策定します。 ○ まちづくり基本計画に基づき、 ①道路等の維持管理に係る課題などは維持管理課で速やかに対応します。 ②カーブミラーや道路照明灯、通学路カラー化等、即効性のある交通安全施設の整備は1校区1千万円を限度にワークショップの翌年度に地域整備課で整備を行います。 ○ 災害時の要援護者対策や避難所の確保等、地域と行政の共働により防災の取組みを推進します。 また、避難所になっている小学校までの案内表示を地域・関係機関との共働により整備していきます。 ○ 道路施設等の不具合・異常箇所に関する区民(市民)からの情報提供について、区民(市民)生活の安全確保、事故防止の観点から、原則、当日に現場立会や確認を行い、1週間以内での完了を目指します。(ただし、大規模工事は除きます。)	○原北・室見校区において、平成26年度に策定した「まちづくり基本計画」に基づき、交通安全施設の整備を実施しました。 ○応募・抽選により選ばれた、入部・脇山校区において、ワークショップやまち歩きにより地域の課題を具体化し、「安全安心マップ」の作成並びに「まちづくり基本計画」を策定しました。 ○飯倉、原、田村、高取、室見校区において、避難所にもなっている小学校までの案内標示を地域・関係機関と連携し整備を行いました。		○入部・脇山校区において、平成27年度に策定した「まちづくり基本計画」に基づき、交通安全施設の整備を行います。 ○平成28年度の実施校区について公募を行い、ワークショップやまち歩きにより地域の課題を具体化し、「安全安心マップ」の作成並びに「まちづくり基本計画」を策定します。 ○また、避難所にもなっている小学校までの案内標示の整備を希望する校区について、平成27年度に決定した実施順序から、脇山、大原、内野・曲淵、早良校区の4校区で整備を実施します。			
				実施スケジュール		27年度予定	27年度実績		
				ワークショップ(WS)の実施 まちづくり基本計画の策定		2校区 ※公募	2校区 実施		
				交通安全施設の整備		2校区 ※前年度 WS実施校区	2校区 実施		
				迅速な維持管理の対応		実施	実施		
				指標項目		現状値 (24nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	27年度実績値
				地域の課題解決のための交通安全施設の整備を行った校区数(校区)		8	13	17	15

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	27年度の実施状況	28年度以降の取組予定（27年度末時点）			
1	③	西区	市民との共働による区及び校区危機管理体制の充実・強化	自主防災組織力を強化、充実するための研修会や講演会などを実施しました。 また、地域が行う防災計画の見直しの支援や災害危険箇所の点検指導などを行い、災害に強いまちづくりの推進を図りました。	西区23校区の自主防災組織力を強化、充実するための研修会等を実施します。 また、校区自主防災組織が策定している防災計画を必要に応じて見直せるよう支援し、さらに地域の特性に応じた避難行動訓練の実施指導などを行い、災害に強いまちづくりを推進します。			
			各校区と行政が連携し、地域住民の安全を確保するための取り組みを推進します。 西区ではすべての校区に自主防災組織が設置されていますが、組織強化を支援することにより、安全で安心なまちづくりを推進します。全校区で策定済の安全安心マップについては、平成24年度より防災情報をより充実させながら、順次改定を推進していきます。					
				実施スケジュール			27年度予定	27年度実績
				校区防災訓練の実施			実施	実施
				総合防災訓練 防災危険箇所点検の実施			実施	実施
				指標項目	現状値 (24nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	27年度実績値
			安全安心マップの改定校区数 (校区)(年度当初)	0	14	21	18	

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	27年度の実施状況	28年度以降の取組予定（27年度末時点）			
1	③	西区	市民との共働による「西区の宝」磨き	市民によるボランティア団体である「西区まるごと博物館推進会」が中心となり、学生ボランティア、関係団体等との協働、また企業等の協賛により、「西区の宝」を活かした多彩な事業を開催し、西区の魅力を発信しました。	引き続き、市民によるボランティア団体である「西区まるごと博物館推進会」が中心となり、学生ボランティア、関係団体等との協働、また企業等の協賛により、「西区の宝」を活かした多彩な事業を開催します。 また、積極的な広報活動により、西区の魅力を内外に発信していきます。			
			西区全体を地域ごとの魅力(宝)を展示した「博物館」と位置づけ、区内の自然、歴史、文化、景観などの様々な有形・無形の地域資源や人的資源を区民が主体となって保存・育成・創出し、それらに回遊性を持たせることで区民自らの活用を促進するとともに、地域外にも魅力を発信していきます。					
				実施スケジュール			27年度予定	27年度実績
				魅力発信事業の開催			企画・実施	企画・実施
				「西区の宝」の認定			認定・広報	認定・広報
				指標項目	現状値 (24nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	27年度実績値
			魅力発信事業の開催数(件)(年度末)	18	19	21	19	

取組 番号	推進 項目	局区名	取組内容	27年度の実施状況			28年度以降の取組予定（27年度末時点）		
1	③	西区	市民との共働による環境啓発活動の推進	・人材育成講座の開催 平成27年10月～平成28年1月の6回開催し、平成27年度17名が受講しました。			・人材育成講座の開催 引き続き、6回開催します。		
			地域に潜在する意欲的な人材を発掘・育成する「人材育成講座」を核に、講座修了生たちへの自主的な活動への支援、活動の発表・評価の場となる「西区環境フェスタ」を毎年共働で開催し、「市民と西区共働で環境啓発活動を行えるまち」を目指します。 修了生たちによる環境活動団体の共同体となる「環境たくみの会」が結成され、市民による市民のための環境啓発活動を展開中。所属している各団体(修了生による9団体と連携企業等3団体)は、バラエティに富んだ楽しい環境講座を地域へ提供することで、市民の環境に関する意識の向上はもちろん、地域の活性化へつなげていきます。環境啓発活動というものは、継続こそが力となるものなので、活動継続のために、修了生たちのモチベーション、充実度を重要視し、事業を推進していきます。	・環境活動団体への支援 「環境たくみの会」定例会に毎月出席し、活動の場の提供、補助金制度の活用などの情報提供、組織運営の指導助言を行いました。			・環境活動団体への支援 引き続き、支援を継続していきます。		
			・西区環境フェスタの開催 環境に関心がある20団体が共催し、平成28年3月13日、西部地域交流センター(さいとぴあ)で開催しました。来場者数は延べ5,523名でした。			・西区環境フェスタの開催 27年度の取組に加え、環境問題に関心の深い企業等との連携を深めて開催します。			
			実施スケジュール			27年度予定	27年度実績		
			人材育成講座の開催			企画・実施	企画・実施		
			環境活動団体への支援			実施	実施		
			環境フェスタの開催			企画・実施・検証	企画・実施・検証		
			指標項目	現状値 (23nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	27年度実績値		
修了生等の充実度の向上(環境フェスタスタッフのやりがい度)	62%	65%	70%	82%					
市民の環境意識の向上(環境フェスタ来場者の実践したい環境行動の数)(個)	2.09	2.50	3.00	3.41					

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	27年度の実施状況		28年度以降の取組予定（27年度末時点）				
1	③	消防局	小中学校における救命講習 福岡市の小・中学生を対象とした救命講習を実施し、受講者の裾野を拡げるとともに、教職員への応急手当指導者講習を実施し、自学自習の救命教育を促します。 講習終了後は修了証、認定証を交付するとともに、アンケートを実施し講習会に反映させていきます。 （実施内容） ・小学5年生を対象とした救命入門コース（90分）を実施 ・中学2年生を対象とした普通救命コース（180分）を実施 ・小中学校の教職員を対象とした応急手当指導者講習の実施	①小学5年生を対象とした救命入門コース 小学校で23回（児童1,768名参加）実施しました。 ②中学2年生を対象とした普通救命コース 中学校で13回（生徒1,984名参加）実施しました。 ③小中学校の教職員を対象とした応急手当指導者講習 教職員56名に対し応急手当指導者講習を実施しました。		28年度から教員による実技指導へ移行し、消防職員はその補助を行います。 ①小学5年生を対象とした救命入門コース 小学校28校以上で教員を主体とした実技指導を実施予定です。 ②中学2年生を対象とした普通救命コース 中学校21校以上で教員を主体とした実技指導を実施予定です。 ③小中学校の教職員を対象とした応急手当指導者講習 28年度は49名に対して指導者講習を行う予定にしており、今後も計画的に講習を行います。				
				実施スケジュール				27年度予定	27年度実績	
				小中学校における救命講習		拡充	実施			
				教職員を対象とした応急手当指導者講習		実施	実施			
				指標項目		現状値 （24nd）	中間目標値 （26nd）	最終目標値 （28nd）	27年度実績値	
				小中学校での救命講習（実施校数） ・平成25年度：各区1校（モデル校） ・平成28年度：市内半数の小中学校での実施を目標とする。		小学校	0	21	73	23
						中学校	0	14	35	13
教職員を対象とした応急手当指導者講習の受講者（累計）（人）		0	100	200	86					

取組 番号	推進 項目	局区名	取組内容	27年度の実施状況	28年度以降の取組予定（27年度末時点）			
1	③	消防局	市民との共働による災害に強い地域づくり	・地域を主体とする自主防災組織をはじめ、事業所等が実施する防火・防災訓練等での指導を全149校区・地区中145校区・地区において計763回実施しました。 ・様々な広報媒体を通し、51回の広報・啓発を実施しました。	・各消防署及び防災センターが相互に協力し、区役所等、関係機関との連携を図りながら、すべての地域（149校区・地区）の自主防災組織等に対し、講座、訓練等を実施し、災害に強い地域づくりを推進していきます。 ・様々な広報媒体を活用した火災予防広報・啓発を積極的に実施するとともに、「みんなの防火・防災・救急ブック」や高齢者向けの啓発チラシを作成・配布するなど、市民の防火意識の向上を図り、火災件数の減少につなげます。			
			地域住民の方々が実施する防火・防災訓練等での指導や、ホームページ・メディアなどを活用した減災等の情報発信を強化し、安全で安心して暮らせる災害に強い地域づくりに共働で取り組みます。					
				実施スケジュール			27年度予定	27年度実績
				地域ニーズに応じた「災害に強い地域づくり講座」の実施			実施	実施
				ホームページ・メディアなどを活用した情報発信の強化			実施	実施
				指標項目	現状値 (23nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	27年度実績値
				災害に強い地域づくり講座の全校区での実施	88.6%	100%	100%	97%
				指標項目	現状値 (24年)	中間目標値 (26年)	最終目標値 (28年)	27年実績値
				火災件数(件)	337	320	300	281

取組 番号	推進 項目	局区名	取組内容	27年度の実施状況	28年度以降の取組予定（27年度末時点）			
1	③	水道局	水源林ボランティアとの共働	水道局と水源林ボランティアの共働により、水源かん養林の保全活動をはじめ、市民に水源かん養林の大切さや水源地域への理解を広めるための各種イベント時における広報活動、水源地域との交流活動、市民が参加できる水源かん養林保全活動体験、除伐竹材の有効利用などを実施しました。	水道局と水源林ボランティアの共働により、水源かん養林の保全活動をはじめ、市民に水源かん養林の大切さや水源地域への理解を広めるための各種イベント時における広報活動、水源地域との交流活動、市民が参加できる水源かん養林保全活動体験、除伐竹材の有効利用などを実施します。 今年度も引き続き、活動の継続、および、目標値のボランティア参加者延べ人数の確保を目指します。			
			水源かん養林の保全活動に必要な知識・技術などを修得した水源林ボランティア（市民ボランティア）と共働して、水源かん養林の保全活動を行うとともに、市民に水源かん養林の大切さや水源地域への理解を広めるため、本市が行う各種イベント時における広報活動や市民が参加する水源かん養林保全活動の体験事業の実施、さらに、地元の協力を得ながら、保全活動において除伐した竹材を有効利用（竹炭製作等）する取り組みなどを行います。					
			実施スケジュール				27年度予定	27年度実績
			水源林ボランティアとの共働による水源林保全活動・広報活動				実施	実施(48回)
			指標項目		現状値 (24nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	27年度実績値
水源かん養林保全活動等へのボランティア参加者延べ人数(人)				400	420	440	600	

取組 番号	推進 項目	局区名	取組内容	27年度の実施状況	28年度以降の取組予定（27年度末時点）			
1	③	教育委員会	学校の安全体制の整備 子ども達の登下校時の安全確保を図るため、学校と地域諸団体、関係機関との連携により、地域ぐるみで学校の安全を守る取り組みを行います。 【取り組み内容】 ○各学校におけるスクールガードの組織設立 地域から学校安全ボランティア（スクールガード）を募り、登下校時などに子ども達の見守り活動を実施します。 ○スクールガード養成講習会の開催 学校で巡回・警備等に従事するスクールガードを養成するための講習会を開催します。 ○スクールガード・リーダーによる学校巡回指導と評価及び防犯・安全教室の実施 警備会社等の防犯の専門家をスクールガード・リーダー（地域学校安全指導員）として委嘱し、教職員やスクールガードの指導や専門的視点からの安全点検等を実施するために定期的に学校を巡回し、学校安全に関する指導と評価を行います。また、保護者や地域の方の参画、協働による取組として防犯・安全教室を実施します。	○地域ぐるみの学校安全対策整備事業 ・スクールガード・リーダーによる学校巡回指導と評価を各学校2回実施しました。 ・スクールガード・リーダー連絡会で情報共有を行い、次年度に行う取り組みを決定しました。 ・スクールガード・リーダーによる安全教室、防犯教室を実施しました。 ・スクールガード養成講習会で、通学路や安全対策についての講話や実践報告を実施しました。 ○警察、道路管理者、学校における通学路の合同点検を実施しました。 ○小学校1年生の児童に対して防犯笛及びブザーの配布を行いました。	○地域ぐるみの学校安全対策整備事業 ・スクールガード・リーダーによる学校巡回指導と評価を各学校2回実施します。 ・スクールガード・リーダーによる安全教室、防犯教室を実施（14校）します。 ・スクールガード養成講習会において実践報告を実施するなど、スクールガードの周知に努め、組織率の向上を図ります。 ・スクールガードの組織ができていない学校の状況を把握し、安全指導の充実を働きかけます。 ・全学校からチェックリストを提出させ、学校の安全体制を強化するためにスクールガードを組織するよう指導します。 ・校長会で、スクールガードの必要性を周知します。 ○警察、道路管理者、学校における通学路の合同点検を継続実施します。 ○各学校における危機管理マニュアル、安全マップの見直しを行います。 ○小学校1年生の児童に対して防犯笛及びブザーを配布します。			
				実施スケジュール			27年度予定	27年度実績
				スクールガード・リーダーによる学校巡回と評価			実施	実施
				各学校における防犯・安全教室の実施			実施	実施
				中学校ブロックにおけるスクールガード連絡会の実施			実施	実施
				指標項目	現状値 (24nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	27年度実績値
				スクールガードの組織率（組織数/学校数）	82.5%	95%	100%	93.0%
				スクールガード養成講習会（年2回）の参加者数（人）	548	600	700	588